

一般講演

口頭発表プログラム

- 口頭発表は、質疑応答と交代の時間を含めて15分です。時間に沿った進行のため、12分の発表と2分30秒の質疑応答をお願いいたします。

1 鈴 10分

2 鈴 12分 発表終了

3 鈴 14分30秒 質疑応答終了

- 発表に先立ってパソコンからの投影をご自身で設定して頂き、試写室（1階）で動作確認を行ってください。試写室にはスタッフが付いておりませんので、ご質問等があれば運営本部（1階）にお尋ねください。
- 座長の方は、担当時間の15分前までに会場にお越しいただき、会場のタイムキーパー／照明係にお名前をお伝え下さい。また、担当される方々で、あらかじめ連絡をとって分担する演題を決めておいてください。
- 座長一覧は、口頭発表プログラムの後にあります。

● 第 1 日 3 月 13 日 (水) 午前 (9:30-12:30)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
9:30	シンポジウム S 01	シンポジウム S 02	生体膜・イオン・物質輸送	一次代謝	光合成の環境応答	環境応答 A	植物ホルモン/シグナル伝達物質	エピジェネティック制御
9:30			1aC01 リンドウの花の開閉運動に関与する水チャネル・アクアポリンの機能解析 根本圭一郎, 後藤史奈, 渡辺藍子, 西原昌宏 (公益財団法人 岩手生物工学研究センター)	1aD01 異なる窒素栄養条件に応答した <i>Oryza longistaminata</i> の地下茎を介したラメット間情報輸送に関する研究 河合美里 ¹ , 本田遥乃 ¹ , 岡本暁 ² , 大橋美和 ¹ , 榎原均 ¹ (¹ 名大・院生命科学, ² 新潟大・農学)	1aE01 ヒメツリガネゴケにおける葉緑体の二酸化炭素固定運動 杉山太二, 寺島一郎 (東大・院理・生物)	1aF01 ホウ素欠除で誘導されるシロイヌナズナ根の迅速な細胞死の機構解明 梅木大輔, 宮本真亜子, 小林優, 間藤徹 (京都大・院・農)	1aG01 気孔開度の調節に関与するシロイヌナズナ NPF タンパク質の解析 清水崇史 ^{1,2} , 菅野裕理 ¹ , 渡邊俊介 ¹ , 瀬尾光範 ¹ (¹ 理研・CSRS, ² 奈良先端大・先端科学)	1aH01 アサガオの刷毛目紋を司るエピジェネティックな遺伝子発現制御 星野敦 ^{1,2} , 森田裕裕 ³ , 長岐清孝 ⁴ (¹ 基生研, ² 総研大・生命科学, ³ 名城大・農, ⁴ 岡山大・植物研)
9:45			1aC02 植物色素アントシアニンの青色化に関連する膜輸送体の研究 永縄万由子 ¹ , 木村ゆり ¹ , 佐古建志 ¹ , 吉田久美 ² , 尾山公一 ³ , 前島正義 ¹ , 中西洋一 ¹ (¹ 名大・院生命科学, ² 名大・院情報学, ³ 名大・物国セ)	1aD02 窒素欠乏条件で高成長を示すシロイヌナズナ野生系統の表現型解析 馬淵敦士 ¹ , 門田慧奈 ¹ , 櫻庭康仁 ² , 林宜淳太郎 ¹ , 柳山公一 ³ , 射場厚 ¹ (¹ 九州大・院・理・生物科学, ² 東京大・生物生産工学研究センター)	1aE02 莢の透過率はマメの種皮の光合成に影響を与えるか 田代周与, 園池公毅 (早稲田大学 教育・総合科学学術院)	1aF02 ユークレナの重力方向分布の光照射による変化 尾笹一成, 前田瑞夫 (理化学研究所, 前田バイオ工学研究室)	1aG02 ABA シグナル伝達の主要経路に関わるグループ C Raf 型タンパク質リン酸化酵素の機能解析 神山佳明 ¹ , 廣谷美咲 ¹ , 岸美有子 ¹ , 野元美佳 ² , 多田安臣 ² , 坂田洋一 ³ , 竹澤大輔 ⁴ , Scott Peck ⁵ , 梅澤泰史 ¹ (¹ 農工大・院・BASE, ² 名大・遺伝子, ³ 東農大・院・バイオ, ⁴ 埼玉大・理, ⁵ ミズーリ大学)	1aH02 イネ茎頂分生組織の相転換における DNA メチル化パターン動態とその制御機構 肥後あすか ¹ , 三浦史仁 ² , 伊藤隆司 ² , 島本功 ³ , 辻寛之 ¹ (¹ 横浜市大・本原生物学研究所, ² 九州大学医学研究院, ³ 奈良先端大 バイオサイエンス)
10:00			1aC03 シロイヌナズナのシスチン様タンパク質の分子機能解析 郭佳, 永縄万由子, 武村みどり, 前島正義, 中西洋一 (名大院生命科学)	1aD03 硝酸シグナルに応答した遺伝子発現誘導における NLP 転写因子の PB1 ドメインの役割 小西美穂子, 柳澤修一 (東京大・生物生産工学研究センター)	1aE03 シロイヌナズナ光独立栄養培養細胞における葉緑体機能 竹中源, 竹田恵美 (大阪府立大学大学院理学系研究科生物科学専攻)	1aF03 シロイヌナズナにおける赤外線レーザーを用いたアミロプラストを捕捉した際の PIN3 の動態 阿部純明 ¹ , 吉川洋史 ² , 豊田正嗣 ³ (¹ 埼玉大学理学部分子生物学科, ² 埼玉大学大学院理工学研究科)	1aG03 オオムギ種子の後熟過程におけるリン酸化プロテオームの変化 石川慎之祐 ¹ , Barrero Jose ² , 高橋史憲 ³ , 申神弘史 ⁴ , Peck Scott ⁵ , Gubler Frank ⁶ , 篠崎一雄 ⁷ , 梅澤泰史 ¹ (¹ 農工大・院・BASE, ² CSIRO, ³ 理研・CSRS, ⁴ マックスプランク研, ⁵ ミズーリ大・生化)	1aH03 ゲノム低メチル化による中心代謝異常の解析 杉直也 ¹ , Thi Ngoc Quynh Le ¹ , 草野都 ^{1,2} , 斎藤和季 ^{2,3} , 柴博史 ¹ (¹ 筑波大・院・生命環境, ² 理研・CSRS, ³ 千葉大・薬)
10:15			1aC04 【演題取り下げ】	1aD04 ㊦ Molecular mechanism underlying feedback regulation of nitrogen response by glutamine in plants Pengcheng Guo, Shuichi Yanagisawa, Mineko Konishi (Biotechnology Research Center, Univ. Tokyo)	1aE04 シロイヌナズナの光合成の低温順化能力のエコタイプ間差の解析 神浦悠那, 猪鼻諒, 尾崎洋史, 野口航 (東京薬科大・生命科学)	1aF04 LZY3 発現レベルに依存した側根伸長角度制御 森祥伍 ¹ , 中村守貴 ² , 押田龍一郎 ³ , 西村岳志 ² , 古谷将彦 ⁴ , 森田(寺尾)美代 ² (¹ 名大・農, ² 基生研, ³ 名大・院生命科学, ⁴ 福建農林大・生命科学)	1aG04 根寄生植物ストライガは機能変異を起こした Protein Phosphatase 2C によって ABA 非感受性が高蒸散を示す 藤岡聖 ¹ , 鮫島啓彰 ^{1,2} , 鈴木秀幸 ³ , 水谷正治 ¹ , 岡本昌憲 ^{4,5} , 杉本幸裕 ^{1,2} (¹ 神戸大学大学院農学研究科, ² JST/JICA SATREPS, ³ かずさ DNA 研究所, ⁴ 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター, ⁵ JST/PRESTO)	1aH04 エピジェネティック変異が薄く, 2 時代代謝物制御を通じたシロイヌナズナエコタイプの局所適応 白井一正 ¹ , 佐藤光彦 ² , 中林亮 ³ , 仁志蘭子 ³ , 阿部佳澄 ⁴ , 金鍾明 ³ , 関原明 ³ , 清水みなみ ³ , 篠崎一雄 ³ , 鈴木穰 ⁴ , 斎藤和季 ⁵ , 花田耕介 ^{1,3} (¹ 九州工業大学情報工学部生命化学情報工学科, ² 九州大学大学院医学研究院病態制御学講座, ³ 理化学研究所環境資源科学研究センター, ⁴ 東京大学大学院新領域創成科学研究科, ⁵ 千葉大学大学院薬学研究科)

光合成電子伝達の最終局面 (9:30-12:30)
フィールドにおける植物の理解とその制御に向けた基盤技術創出 (9:30-12:30)

I 会場	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時間
<p>花成/時計</p> <p>1aI01 ヒストン脱メチル化酵素と低分子化合物による春化の操作 白川二¹, 森崎由花帆¹, ガンエンシエン², 佐藤綾人³, 伊藤寿朗^{1,2} (1)奈良先端科学技術大学院大学, (2)テマセック生命科学研究所, (3)トランスフォーメティブ生命科学分子研究所)</p> <p>1aI02 高温による <i>FLOWERING LOCUS C</i> の発現の再活性化 丸岡孝資¹, 白川二², 伊藤寿朗³, ガンエンシエン³ (1)奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科, (2)奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科, (3)テマセック生命科学研究所)</p> <p>1aI03 ハクサンハタザオ自然集団における日周リズム遺伝子における日周リズム遺伝子中の検出とその季節変化 村中智明¹, 本庄三恵¹, 川越哲博², 永野輝², 工藤洋³ (1)京都大学 生態学研究センター, (2)龍谷大学 農学部)</p> <p>1aI04 概日時計の調節による季節認識メカニズムの制御 廣畑敦洋^{1,2}, 山島祐太², 荒木崇², 遠藤求² (1)京都大学大学院生命科学部研究科統合生命科学専攻分子代謝制御研究室, (2)奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科バイオサイエンス領域植物生理学研究室)</p>	<p>栄養成長</p> <p>1aJ01 気孔を増やす低分子化合物の解析 中川彩美¹, 山田終哉¹, ベリークレゴリー¹, 佐藤綾人¹, 村上慧¹, 打田直行¹, 伊丹健一郎¹, 鳥居啓子^{1,2,3} (1)名古屋大・ITbM, (2)ワシントン大・生物, (3)ワード・ヒューズ医学研究所)</p> <p>1aJ02 気孔の開閉は PPI の過剰な蓄積により阻害される 浅岡真理子¹, 井上晋一郎², 郡司玄³, 木下俊則⁴, 前島正義⁵, 塚谷裕一^{6,7}, Ali Ferjani^{1,3} (1)東京学芸大・教育・生命, (2)名大・院・理, (3)東京学芸大・院・連合, (4)名古屋大学 WPI-ITbM, (5)名大・院・生命農, (6)東大・院・理, (7)ExCELLS)</p> <p>1aJ03 E Unravelling temporally coordinated cell divisions in the Arabidopsis root meristem by a motion-tracking microscope system Katsutoshi Imizu¹, Shunsuke Miyashima², Tatsuki Goh², Keiji Nakajima² (1)Grad. Sch. Bio. Sci., NAIST, (2)Grad. Sch. Sci. Tech., NAIST)</p> <p>1aJ04 E Identification of Key transcription factors that determine pericycle stem cell potential in Arabidopsis Ye Zhang¹, Nobutaka Mitsuda¹, Takeshi Yoshizumi³, Yoichi Kondo³, Masaru Takagi², Minami Matsui³, Tatsuo Kakimoto¹ (1)Grad. Sch. Sci., Univ. Osaka, (2)National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, (3)Plant Science Center, RIKEN Yokohama Institute)</p>	<p>植物生物間相互作用 A</p> <p>1aK01 E Functional analysis of camalexin, a phytoalexin in <i>Arabidopsis thaliana</i>, against <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>tomato</i> DC3000 carrying <i>AvrRpt2</i> Mizuki Iwamoto¹, Nobuhiko Nomura², Shigeyuki Betsuyaku² (1)Grad. Sch. of Life & Env. Sci., Univ. Tsukuba, (2)Fac. Life & Env. Sci., Univ. Tsukuba)</p> <p>1aK02 植物免疫における ACCELERATED CELL DEATH 6 の機能解析 尾形朋美¹, 野村暢彦², 別役重之² (1)筑波大・院生命環境科学, (2)筑波大・生命環境科学系)</p> <p>1aK03 E Assessing the generality of the concentric SA/JA activation pattern appeared at the sites of stimuli in <i>Arabidopsis</i>. Akira Hattori¹ (1)Grad. Sch. Agr. Bio., Univ. Tsukuba, (2)Fac. Life. Env., Univ. Tsukuba)</p> <p>1aK04 E Evolutionary process of a pair of R genes, Pit-1 and Pit-2 Yuying Li, Qiong Wang, Huimin Jia, Yoji Kawano (PSC, CAS)</p>	<p>植物生物間相互作用 B</p> <p>1aL01 共生微生物の感染様式を制御するメディエーター因子の解析 寿崎拓哉¹, 武田直也², 西田帆那¹, 星野元泉¹, 伊藤百代¹, 三澤文香¹, 半田佳宏³, 川口正代司³ (1)筑波大・生命環境, (2)関西学院大・理工, (3)基生研)</p> <p>1aL02 硝酸に応答した根粒形成制御における NRSYM1 及び NRSYM2 の役割 西田帆那¹, 鈴木孝征², 伊藤百代¹, 野元美佳¹, 多田安臣², 西嶋達², 川勝泰二⁴, 川口正代司^{5,6}, 寿崎拓哉¹ (1)筑波大学生命環境, (2)中部大・応用生物, (3)名大・理, (4)農研機構・生物機能利用, (5)基生研, (6)総研大・生命科学)</p> <p>1aL03 ステロールの恒常性に寄与する Acyltransferase による根粒共生の制御 山崎明広¹, 岡咲洋三^{1,2}, 斉藤和季^{1,3}, 橋本恵¹, 豊岡公徳¹, 宮原章⁴, 永江美和¹, 梅原洋佐¹, 林誠¹ (1)理研 CSRS, (2)三重大生物資源, (3)千葉大院薬, (4)生物研植物科学研究領域)</p> <p>1aL04 E Functional characterization of Rhizobium LCO receptors in the nodulating non-legume <i>Parasponia Kana Miyata</i>^{1,2}, Luuk Rutten¹, Yuda Roswanjaya¹, Rene Geurts¹ (1)Wageningen Univ., (2)JSPS Overseas Research Fellow)</p>	<p>環境応答 C</p> <p>1aM01 エタノールによる植物の高温ストレス耐性強化の分子機構の解析 砂押裕司^{1,2}, 松井章浩^{2,3}, 田中真帆^{2,3}, 水無佳代子², 関原明^{2,3,4} (1)横浜市大・院・生命ナノ, (2)理研・CSRS 植物ゲノム発現研究チーム, (3)理研・植物エビゲノム制御研究室, (4)横浜市大・木原生研)</p> <p>1aM02 高温ストレス応答に関与するメディエーターサブユニットの機能解析 大濱直彦, Teck Lim Moo, Nam-Hai Chua (テマセック生命科学研究所)</p> <p>1aM03 <i>HsfA1</i> 導入トマトの短期・長期高温ストレス耐性評価 齋藤雄一¹, 有賀裕剛¹, 星川健², 江面浩², 田中啓介², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1)東京農大・バイオサイエンス, (2)筑波大学生命環境, (3)東京農大・生物資源ゲノム解析センター)</p> <p>1aM04 高温耐性を示すシロイヌナズナ Bs-2 の高温耐性メカニズム解析 小野雅晃, 中村浩太郎, 四井いずみ, 坂田洋一, 太治輝昭 (東京農大・バイオ)</p>	<p>シンポジウム 03 Understanding the plant survival strategies from the perspective of stem cells (9:30-12:15)</p>	<p>システム生物学</p> <p>1aO01 E Comparative genomics to understand evolution of Alkaloid biosynthesis and diversification Amit Rai¹, Ryo Nakabayashi², Hideki Hirakawa², Hiroshi Tsugawa², Taiki Nakaya¹, Tetsuya Mori², Hiroki Takahashi¹, Shinji Kikuchi¹, Kazuki Saito^{1,2}, Mami Yamazaki¹ (1)Chiba University, (2)RIKEN CSRS, (3)KAZUSA DNA Research, (4)Medical Mycology Chiba University)</p> <p>1aO02 E Genetic Analysis of Thailand Lime and <i>Citrus</i> Genetic Resources Paweena Chuenwarin^{1,2}, Sunanta Wiphuwathinee², Ratchadawan Bownchaikitikun², Monnnaporn Chuenjit², Anyamane Auvuchanon¹ (1)Department of Horticulture, Faculty of Agriculture at Kampaeng Saen, Kasetsart University, Kampaeng Saen Campus, (2)Agricultural Biotechnology, Faculty of Agriculture at Kampaeng Saen, Kasetsart University, Kampaeng Saen Campus)</p> <p>1aO03 E Subgenome-classification methods for genomic studies of allopolyploid <i>Arabidopsis</i> and wheat Kentaro K. Shimizu^{1,2}, Tony Kuo³, Jun Sese^{4,5}, Masaomi Hatakeyama⁵, Tim Paape¹, Gwyneth Halstead-Nussloch¹, Toshiaki Tameshige² (1)University of Zurich, Department of Evolutionary Biology and Environmental Studies, (2)Yokohama City University, (3)Kihara Institute for Biological Studies, (4)AIST, (5)Humanome Lab, (6)Functional Genomics Center Zurich)</p> <p>1aO04 植物のコアプロモーターの特徴 圓山恭之進¹, 山本義治², 櫻井哲也³ (1)国際農研・生物資源・利用, (2)岐阜大・応用生物, (3)高知大・総合科学系)</p>	<p>9:30</p> <p>9:45</p> <p>10:00</p> <p>10:15</p>

E = 発表の言語は英語

● 第 1 日 3 月 13 日 (水) 午前 (9:30-12:30)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
10:30	シンポジウム S 01 フィールドにおける植物の理解とその制御に向けた基盤技術創出 (9:30-12:30)	シンポジウム S 02 光合成電子伝達の最終局面 (9:30-12:30)	生体膜・イオン・物質輸送	一次代謝	光合成の環境応答	環境応答 A	植物ホルモン/シグナル伝達物質	エビジェネティック制御
10:45			1aC05 ㊦ Involvement of NGAL1 transcription factor in Boron transport under low and high Boron Munkhtsetseg Tsendnee ¹ , Ricardo Fabiano Giehl ² , Mayuki Tanaka ¹ , Nicolaus von Wieren ² , Toru Fujiwara ¹ (¹ The University of Tokyo, ² Leibniz Institute of Plant Genetics and Crop Plant Research (IPK), Germany)	1aD05 シロイヌナズナにおいて NIGT1 転写因子群は窒素条件依存的にリンシグナルを正に調節する 植田佳明 ¹ , 木羽隆敏 ² , 柳澤修一 ¹ (¹ 東大・生物生産工学研究センター, ² 名大院・生命農学研究科)	1aE05 重シアンバクテリアの重炭酸イオン輸送体を導入したシロイヌナズナにおける葉緑体関連タンパク質への影響 上原晋 ¹ , 稲葉靖子 ² , 稲葉丈人 ² (¹ 宮崎大・院農工, ² 宮崎大・農)	1aF05 重力感受細胞内における重力シグナリング因子 LZY3 の局在解析 中村守貴 ¹ , 西村岳志 ¹ , 近藤智恵美 ² , 古谷将彦 ² , 谷口雅俊 ² , 森田(寺尾)美代 ¹ (¹ 基生研, ² 名大・農, ³ 福建農林大・生命科学, ⁴ 名大院生命農)	1aG05 Protein kinase CK2 の 2 つのサブユニット α と β は ABA シグナルを逆に制御する 永利友佳理 ¹ , 藤田美紀 ² , 藤田泰成 ^{1,3} (¹ 国際農林水産業研究センター, ² 理化学研究所, ³ 筑波大学)	1aH05 ウイルスベクターから供給したりボザイムは配列特異的に脱メチル化を誘導する 磯田玲華 ¹ , 松永航 ¹ , 白川千里 ¹ , 大飼剛 ¹ , 松村健 ² , 増田税 ¹ (¹ 北大・院農, ² 産業技術総合研究所)
11:00			1aC06 イネケイ酸輸送体 Lsi1 の偏在における N および C 末端領域の役割の解析 小西範幸, 馬建鋒 (岡山天植物研)	1aD06 シロイヌナズナにおける、硝酸シグナルによる NAD 生合成制御がもたらす広範な代謝動態 齋藤守秋 ¹ , 宮城敦子 ² , 小西美穂子 ^{1,2} , 川合真紀 ² , 柳澤修一 ¹ (¹ 東京大学生物生産工学研究センター, ² 埼玉大学大学院理工学研究科)	1aE06 葉緑体包膜に局在する Day-Length-dependent Delayed-Greening1 (DLDG1) はシアンバクテリアの H ⁺ 放出タンパク質のホモログでありシロイヌナズナにおいて熱放散の制御に関与する 原田喬平 ¹ , 有蘭昂俊 ² , 佐藤諒一 ^{1,2} , 前川夏彦 ¹ , チンマイズル ¹ , 河野優 ² , 高市真一 ⁴ , 増田真一 ⁵ (¹ 東工大, ² 基生研 分子光生物, ³ 東大院 理, ⁴ 東農大 分子微生物, ⁵ 東工大 バイオセンター)	1aF06 シロイヌナズナにおける RLD 遺伝子群の分子機能の解析 西村岳志 ¹ , 中村守貴 ¹ , 古谷将彦 ² , 谷口雅俊 ² , 森田(寺尾)美代 ¹ (¹ 基生研, ² 名大・農, ³ 福建農林大・生命科学, ⁴ 名大院生命農)	1aG06 ㊦ A role of the feedforward loop consisting of DoF2.1 and MYC2 transcription factors in jasmonate responses Mengna Zhuo, Yasuhiko Sakuraba, Shuichi Yanagisawa (Biotechnology Research Center, The University of Tokyo)	1aH06 DNA 倍加の開始におけるヒストンメチル化の制御 高塚大知, 梅田正明 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス領域・植物成長制御研究室)
11:15			1aC07 ㊦ Functional analysis of a node-expressed transporter for phytosiderophore in rice Jing Che, Kengo Yokosyo, Naoki Yamaji, Jian Feng Ma (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)	1aD07 シアンバクテリア <i>Synechocystis</i> sp.PCC6803 が有する NAD キナーゼの生理的な役割 石川優真 ¹ , 宮城敦子 ² , 石川寿樹 ¹ , 長野稔 ² , 山口雅利 ¹ , 園池公毅 ² , 日原由香子 ¹ , 金子康子 ¹ , 川合真紀 ¹ (¹ 埼玉大学理工学研究科, ² 立命館大学・生命科学, ³ 早稲田大 教育・総合科学術院)	1aE07 ラン藻 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 の強光適応におけるガラクトリパーゼ Galp1 の機能 高谷信之 ¹ , 池田和貴 ² , 小侯達男 ¹ (¹ 名大・院・生命科学, ² 理研・IMS)	1aF07 ゼニゴケの局所的な部位で見られる重力応答性 橋本美海 ¹ , 法月拓也 ^{2,3} , 上田貴志 ^{2,4} , 森田美代 ^{1,4,5} (¹ 名大・院・生命科学, ² 基生研・細胞動態研究部門, ³ 東大院・理, ⁴ 総研大・基生研・植物環境応答研究部門)	1aG07 ダイズ の食害応答を制御する糖エリシターの受容機構の解明 上村卓矢 ¹ , 八須匡和 ¹ , 星野稜介 ¹ , 根本圭一郎 ² , 吉田彩子 ³ , 三浦成敏 ¹ , 西山真 ^{3,4} , 西山千春 ¹ , 堀戸重臣 ¹ , 出崎能丈 ¹ , 澤崎達也 ⁵ , 有村源一郎 ¹ (¹ 東理大・基礎工, ² 岩手工研, ³ 東大・生物生産工, ⁴ 東大・CRIM, ⁵ 愛媛大・PROS)	1aH07 ヒストン脱メチル化による遺伝子プライミングが植物再生には重要である 松永幸大 ¹ , 石原弘也 ¹ , 天満春花 ¹ , 角倉慧 ¹ , 稲垣宗一 ² , 乾弥生 ¹ , 坂本卓也 ¹ , 鈴木孝征 ³ , 諸橋賢吾 ¹ , 角谷徹仁 ² , 杉本薫 ¹ (¹ 東京理科大・理工・応用生物学, ² 国立遺伝研, ³ 中部大学・応用生物)
	1aC08 ㊦ Cell and tissue specific regulation of sodium homeostasis by major transporters conferring salinity tolerance in rice (<i>Oryza sativa</i> L.) Md. Imtiaz Uddin ¹ , Mohammad Monjur Hossain ² , Md. Abdul Kader ² , Shahin Imran ³ , Md. Ashraful Islam ¹ , Md. Monirul Islam ¹ , Hosne-ara Begum ¹ , Md. Harun-or Rashid ¹ (¹ Biotechnology Division, Bangladesh Institute of Nuclear Agriculture (BINA), ² Department of Agronomy, Bangladesh Agricultural University (BAU), ³ Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)	1aD08 ㊦ Identification and biochemical analysis of a deubiquitinating enzyme as an interactor of C/N regulatory ubiquitin ligase ATL31 in Arabidopsis Yongming Luo, Shigetaka Yasuda, Yu Lu, Yoko Hasegawa, Takeo Sato, Junji Yamaguchi (Fac. Sci. and Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ.)	1aE08 昼夜の葉緑体代謝を切り替えるレドックス制御機構 吉田啓亮, 久堀徹 (東工大・化学生命研)	1aF08 シロイヌナズナ根系の細胞質・核における屈曲誘導的 Ca ²⁺ シグナル 高野勇大 ¹ , 豊田正嗣 ² (¹ 埼玉大・理, ² 埼玉大・院理工)	1aG08 植物における長距離移動性 mRNA の同定 黒谷賢一 ¹ , 筒井大貴 ¹ , 澤井優 ¹ , 鈴木孝征 ¹ , 野田口理孝 ^{1,2,3} (¹ 名大・院・農, ² 名大・ITbM, ³ JST さきがけ, ⁴ 中部大・院・応用生物)	1aH08 植物におけるセントロメアヒストン CENH3 の分子認識機構の解析 武内秀憲 ^{1,2} , 東山哲也 ^{2,3} , Frederic Berger ⁴ (¹ 名大・高等研究院, ² 名大・ITbM, ³ 名大・院・理, ⁴ オーストリア・GMI)		

I 会場	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時間
<p>花成/時計</p> <p>1aI05 外的刺激がシロイヌナズナの単離単一細胞の概日リズムに与える影響の評価 中村駿志, 伊藤照悟, 小山時隆 (京大・院・理)</p> <p>1aI06 シロイヌナズナにおける新規時計長周期化合物大野梓¹, 松尾宏美², 佐藤綾人², 木下俊則^{2,3}, 中道範人^{2,3} (¹名古屋大学理学部, ²名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所, ³名古屋大学大学院理学研究科)</p> <p>1aI07 植物時計を構成する中心振動体 PRR family のレシーバー様ドメインの機能解明 高田祐輔, 小林将英, 古川博規, 山篠貴史 (名大院・生命農)</p> <p>1aI08 シロイヌナズナにおける組織間で時間情報を共有する仕組みの解明 上本恭平^{1,2}, 国本有美², 荒木崇, 遠藤求¹ (京大・院生命科学, ²奈良先端大・バイオ)</p>	<p>栄養成長</p> <p>1aJ05 ㊦ A transcriptional cascade of root hair growth in response to environmental signals Michitaro Shibata, Ayako Kawamura, Keiko Sugimoto (RIKEN, CSRS)</p> <p>1aJ06 担子菌エンドファイト由来の低分子化合物によるシロイヌナズナの側根原基誘導 稲次葵¹, 岡澤敦司¹, 大西利幸², 太田大策¹ (大阪府大院生命環境, ²静岡大・農)</p> <p>1aJ07 根毛形成に異常を示すシロイヌナズナ変異体の解析 島田佳南里¹, 井内聖², 井内敦子², 山田晃嗣¹, 刑部敬史¹, 刑部祐里子¹ (徳島大・生物資源産産学部, ²理研・BRC)</p> <p>1aJ08 シロイヌナズナ根冠細胞の剥離過程における周期的な細胞挙動の解析 郷達明, 上野皓輝, 宮島俊介, 中島敬二 (奈良先端大・先端科学技術)</p>	<p>植物生物間相互作用 A</p> <p>1aK05 ㊦ OsGAPC1 acts as a NO sensor to trigger disease resistance to rice blast fungus through histone acetylation Ken-Ichi Kosami¹, Jing Su², Ko Shimamoto², Yoji Kawano¹ (Shanghai Center for Plant Stress Biology, Chinese Academy of Sciences, ²Laboratory of Plant Molecular Genetics, Grad. Dept. of Biological Science, NAIST)</p> <p>1aK06 ㊦ MPK3/6-WRKY33-ALD1-Pipecolic acid Regulatory Loop Contributes to Systemic Acquired Resistance Yiming Wang, Kenichi Tsuda (Max Planck Institute for Plant Breeding Research)</p> <p>1aK07 ㊦ <i>In planta</i> bacterial multi-omics illuminates regulatory logic underlying plant-pathogen interactions Tatsuya Nobori, Kenichi Tsuda (Max-Planck Institute for Plant Breeding Research)</p> <p>1aK08 ㊦ Regulatory mechanism of PAMP-triggered immunity by REAL1, a novel component of PRR complex Yukihisa Goto^{1,2}, Yasuhiro Kadota³, Hidenori Matsui^{1,3}, Jan Sklenar⁴, Paul Derbyshire⁴, Frank Menke⁴, Hirofumi Nakagami^{1,5}, Cyril Zipfel^{1,6}, Ken Shirasu^{1,2} (RIKEN CSRS, ²Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, ³Grad. Sch. Envi life Sci., Univ. Okayama, ⁴The Sainsbury Laboratory, ⁵MPI for Plant Breeding Research, ⁶TPMB, Univ. Zurich)</p>	<p>植物生物間相互作用 B</p> <p>1aL05 植物生長を促す内生糸状菌の種内変異が宿主植物の生長に与える影響の調査 晝間敬^{1,2}, 井上拓磨¹, 安田盛貴¹, 西條雄介¹ (奈良先端大・バイオ, ²JST さきがけ)</p> <p>1aL06 ㊦ Fungal phosphate export via SYG1 triggers symbiosis-specific lipid biosynthesis in the host of arbuscular mycorrhiza Hayato Maruyama¹, Satoshi Asaeda¹, Kaede Yokoyama¹, Yusaku Sugimura¹, Katsuharu Saito², Chikara Masuta¹, Tatsuhiro Ezawa¹ (Grad. Sch. Agri., Hokkaido Univ., ²Fac. Agri., Shinshu Univ.)</p> <p>1aL07 菌根遺伝子共発現ネットワーク: 多様な環境下での菌根形成および機能を制御するコアモジュール 杉村悠作¹, 河原愛², 丸山隼人¹, 江沢辰広¹ (北大院農, ²住友化学)</p> <p>1aL08 キヌア種子から単離された共生微生物の解析 村田善則, 藤田泰成 (国際農林水産業研究センター生物資源・利用領域)</p>	<p>環境応答 C</p> <p>1aM05 ㊦ Functional Analysis of 70 kDa Heat Shock Proteins in the Regulation of Heat Stress Responsive Gene Expression in Arabidopsis Asad Jan¹, Huimei Zhao¹, Naohiko Ohama¹, Shinya Koizumi¹, Kazuya Kusakabe¹, Junya Mizoi¹, Satoshi Kidokoro¹, Kazuo Shinozaki², Kazuko Yamaguchi-Shinozaki¹ (Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, ²Center for Sustainable Resource Science, RIKEN)</p> <p>1aM06 低温誘導性カルシウムシグナルの季節性と大気中の揮発性化学物質 開勇人¹, 渡邊学², 上村松生^{1,3}, 河村幸男^{1,3} (岩手大院連合農学, ²岩手大・農・寒冷フィールド, ³岩手大・農)</p> <p>1aM07 トポインメラーゼ阻害剤がシロイヌナズナの低温馴化に及ぼす影響 牛山真里, 三原良太, 稲葉靖子, 稲葉丈人 (宮崎大・農)</p> <p>1aM08 メタボロームおよびトランスクリプトーム解析を用いた植物の温度適応機構の解析 速水菜月¹, 草野都^{2,3}, 圓山恭之進⁴, 樋口美栄子², 花田耕介⁵, 松井南², 山本義治^{1,2} (岐阜大院連合農学, ²理研・CSRS, ³筑波大・生命環境科学, ⁴国際農林水産業研究センター (JIRCAS), ⁵九州工業大・若手フロンティア研究アカデミー)</p>	<p>システム生物学</p> <p>1aO05 塩基配列情報をもとにしたプロモーター位置の予測法の開発 平塚琢磨¹, 山本義治^{1,2,3} (岐阜大院自然科学技術, ²岐阜大院・応用生物, ³理研・CSRS)</p> <p>1aO06 野外環境下におけるオオムギの開花関連遺伝子制御ネットワークの進化 井上小根¹, 高萩航太郎^{1,2}, 上原由紀子¹, 清水みなみ¹, 最相大輔³, 松浦恭和¹, 金谷麻加³, 井藤純², 辻寛之², 平山隆志³, 持田恵^{1,2,3} (理研・CSRS, ²横浜市大・木原生研, ³岡山大・植物研)</p> <p>1aO07 年周トランスクリプトームから見る植物の季節適応 永野望¹, 川越哲博², 杉塚次郎², 本庄三恵², 岩山幸治³, 工藤洋² (龍谷大・農, ²京大・生態研セ, ³滋賀大・データサイエンス)</p> <p>1aO08 自作小型培養庫を用いた植物季節応答の再現 栗田悠子¹, 滝本裕則², 神谷麻梨¹, 橋田庸一¹, 鹿島誠¹, 手塚あゆみ¹, 七夕高也¹, 永野望¹ (龍谷大・農, ²岡山県立大・情報工学, ³かずさDNA研究所)</p>	<p>シンポジウム 03 Understanding the plant survival strategies from the perspective of stem cells (9:30-12:15)</p>	<p>10:30</p> <p>10:45</p> <p>11:00</p> <p>11:15</p>

㊦ = 発表の言語は英語

● 第 1 日 3 月 13 日 (水) 午前 (9:30-12:30)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
11:30	シンポジウム S 01 フィールドにおける植物の理解とその制御に向けた基盤技術創出 (9:30-12:30)	シンポジウム S 02 光合成電子伝達の最終局面 (9:30-12:30)	生体膜・イオン・物質輸送	一次代謝	光合成の環境応答	環境応答 A	植物ホルモン/シグナル伝達物質	エピジェネティック制御
11:45			1aC09 高親和性カリウム輸送体遺伝子 <i>AHAK5</i> の植物体内外カリウム環境による発現制御 菅野里美 ^{1,2} , マーティン・ドヴィック ² , ヌソム ローン ² , ヴァヴァサーール アラン ² , レオナル ナタリー ² (筑波大学・生命環境系, ² 原子力・代替エネルギー庁 研究所)	1aD09 シロイヌナズナにおける新規糖応答性転写因子 bZIP3 の単離と機能解析 眞木美帆 ¹ , 陸宇 ¹ , 青山翔紀 ¹ , 光田展隆 ² , 池田美穂 ³ , 高木優 ^{2,3} , 佐藤長緒 ¹ , 山口淳二 ¹ (北大院・理・生命, ² 産総研・生物プロセス, ³ 埼玉大・理工研)	1aE09 窒素固定型シアノバクテリア <i>Anabaena</i> sp. PCC 7120 のヘテロシスト内のレドックス制御系 見原翔子, 吉田啓亮, 若林憲一, 久堀徹 (東工大・化学生命研)	1aF09 オジギソウにおける長距離高速 Ca ²⁺ ・電気シグナル 萩原拓真 ¹ , 三浦智大 ² , 真野弘明 ³ , 長谷部光泰 ^{3,4} , 豊田直樹 ⁵ , 澤井優 ¹ , 池松朱夏 ³ , 新田英之 ² , 東山哲也 ^{2,3} , 野田口理孝 ^{3,4} (1名大・生命農学, ² 名大・理, ³ 名大・ITbM-WPI, ⁴ JST・さきがけ)	1aG09 シロイヌナズナ接ぎ木チップの開発 川勝弥一 ¹ , 筒井大貴 ¹ , 柳田直樹 ² , 澤井優 ¹ , 池松朱夏 ³ , 新田英之 ² , 東山哲也 ^{2,3} , 野田口理孝 ^{3,4} (1名大・生命農学, ² 名大・理, ³ 名大・ITbM-WPI, ⁴ JST・さきがけ)	1aH09 ヒストン脱メチル化酵素 LDL1 は H3K4me2 の脱メチル化を介して相同組換え修復を促進する 平川健 ¹ , 桑田啓子 ² , 松永幸大 ¹ (東理大・院・理工・応用生物科学, ² 名古屋大・WPI-ITbM)
12:00			1aC10 鉄欠乏に応答した長距離シグナル制御 田畑亮 ¹ , 生田久美子 ¹ , 田村花 ¹ , 神谷岳洋 ² , 田野井慶太郎 ² , 松林嘉克 ³ , 榎原均 ¹ (1名大院・生命農, ² 東大院・農, ³ 名大院・理)	1aD10 ピロリン酸が根端コルメラ細胞のデンプン蓄積に与える影響の解析 木下悠, 瀬上紹嗣, 前島正義 (名古屋大・院生命農)	1aE10 CRISPR/Cas9 システムを用いたチオレドキシシン標的酵素の改変と光合成制御の生理的意義の解明 横地佑一 ¹ , Florian Hahn ² , Andreas Weber ² , 吉田啓亮 ¹ , 若林憲一 ¹ , 久堀徹 ¹ (1東工大・化生研, ² Inst. of Plant Biochem., Heinrich Heine Univ.)	1aF10 黒タイズにおける大粒子実の収量に対するグルタチオンの効果 逸見健司, 小川健一 (岡山県農林水産総合センター・生物科学研究所)	1aG10 ㊦ ROS and Ca ²⁺ signals involved in stress-induced long-distance signaling in <i>Marchantia polymorpha</i> Kenji Hashimoto ¹ , Hiroki Shindo ² , Takeru Itabashi ² , Hikaru Mizoe ² , Kazuyuki Kuchitsu ^{1,2,3} (1Imaging Frontier Center, Tokyo Univ. of Science, ² Dept. of Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. of Science, ³ Agricultural Interdisciplinary Sci. & Tech. Course, Tokyo Univ. of Sci.)	1aH10 核ラミナタンパク質 CRWN は銅輸送体遺伝子座の核内配置を制御する 坂本勇貴 ¹ , 佐藤満子 ² , 鈴木孝征 ³ , 豊岡公徳 ⁴ , 高木慎吾 ⁴ , 松永幸大 ^{1,5} (1東理大・総研院・イメージングセンター, ² 理研・CSRS, ³ 中部大・応用生物・応用生物化学, ⁴ 大阪大・院・理・生物科学, ⁵ 東理大・理工・応用生物科学)
12:15			1aC11 トマトの ALMT ファミリーリンゴ酸輸送体の機能解析 佐々木孝行 ¹ , 有吉美智代 ¹ , 小幡年弘 ² , 森泉 ¹ , 山本洋子 ¹ (1岡山大・植物研, ² ネブラスカ大)	1aD11 ㊦ Comparative analysis of starch metabolism in diazotrophic and non-diazotrophic cyanobacteria Eiji Suzuki (Fac Bioresour Sci, Akita Pref Univ)	1aE11 暗所でも見られるクラミドモナスの非光化学消光は有機炭素源の有無よりも培養光強度により影響を受ける 三角将洋, 園池公毅 (早大・教育・総合科学学術院)	1aF11 アクロレインは植物グランドチオントランスフェラーゼの共通基質である 倉光里佳 ^{1,2} , 要田紗也加 ¹ , 松浦風沙 ³ , 山内靖雄 ² , 真野純一 ³ (1山口大・農, ² 神戸大・院農, ³ 山口大・総合科学セ)	1aG11 シロイヌナズナにおける <i>PIP5K7</i> と <i>PIP5K8</i> の機能解析 黒田凌, 加藤真理子, 柘植知彦, 青山卓史 (京大大学化学研究所)	1aH11 植物におけるセントロメア分布制御の意義の解析 坂本卓也 ¹ , 坂本勇貴 ² , 御子侑香 ¹ , 鈴木孝征 ³ , Stefan Grob ⁴ , Ueli Grossniklaus ⁴ , 松永幸大 ¹ (1東理大・理工・応用生物科学, ² 東理大・総研院・イメージングセンター, ³ 中部大・応用生物, ⁴ チューリッヒ大学)
	1aC12 気孔孔辺細胞における光合成依存性細胞膜 H ⁺ -ATPase のリン酸化状態の制御機構の解析 安藤英臣 ¹ , 木下俊則 ^{1,2} (1名大院・理・生命, ² 名大・WPI-ITbM)	1aD12 ㊦ The differential roles of OsNLP1 and OsNLP4 in regulating growth under nitrate condition in rice. Mengyao Wang ¹ , Takahiro Hasegawa ¹ , Makoto Hayashi ² , Yoshihiro Ohmori ¹ , Koji Yano ¹ , Takehiro Kamiya ¹ , Toru Fujiwara ¹ (1Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, ² RIKEN Center for Sustainable Resource Science)	1aE12 H ₂ O ₂ はカルボニルレダクターゼを失活させ、タバコ細胞のプログラム死に関わるカルボニル種を増大させる 寺田凌太 ¹ , Md. Sanullah Biswas ² , 真野純一 ³ (1山口大・農, ² Dept. Horticulture, BSMR Agricultural Univ., ³ 山口大・総合科学セ)	1aF12 H ₂ O ₂ はカルボニルレダクターゼを失活させ、タバコ細胞のプログラム死に関わるカルボニル種を増大させる 寺田凌太 ¹ , Md. Sanullah Biswas ² , 真野純一 ³ (1山口大・農, ² Dept. Horticulture, BSMR Agricultural Univ., ³ 山口大・総合科学セ)	1aG12 シロイヌナズナの根毛形成における平面内極性確立機構の解明 岸本太地, 加藤真理子, 柘植知彦, 青山卓史 (京大・理化学, ² 北大・院生命科学, ³ 北大・院理学)	1aH12 ポリコーン複合体によるトランスポゾン制御解析 山田将登 ¹ , 野沢祐祐 ² , 加藤真理子 ³ , 伊藤秀臣 ⁴ (1北大・理化学, ² 北大・院生命科学, ³ 北大・院理学)		

I 会場	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時間
<p>花成/時計</p> <p>1aI09 細胞タイプ特異的な概日時計が細胞の運命を決定する 鳥井孝太郎¹, 井上佳祐¹, 別城啓太¹, 遠藤求² (1京大・院生命, 2奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域 植物生理学)</p> <p>1aI10 野外環境における温度と光による FT 遺伝子の発現制御機構 久保田直¹, Nayoung Lee², 遠藤求¹, 今泉貴登² (1奈良先端大・バイオサイエンス, 2ワシントン大・生物)</p> <p>1aI11 花芽形成を制御する転写因子 FD の DNA 結合能に関する生化学的解析 坂東果実¹, 根本圭一郎², 野澤彰³, 澤崎達也⁴ (1愛媛大学 プロテオサイエンスセンター, 2岩手生物工学研究センター)</p> <p>1aI12 細胞の概日リズム表現型に基づいた一過的導入 CRISPR/Cas9 システムの定量的な評価 金坂佑紀¹, 岡田全朗², 荒木崇¹, 小山時隆² (1京大・院生命科学, 2京大・院理学)</p>	<p>1aJ09 シロイヌナズナとミチタネツケバナにおける根の皮層形成の分子機構の比較 豊倉浩一^{1,2,3}, 郷達明^{2,4}, 坂根雅人^{2,6}, Yrjo Helariutta^{3,5}, 柿本辰男¹, 工藤洋⁶, 深城英弘² (1大阪大・院・理, 2神戸大・院・理, 3ケンブリッジ大・セインスベリイ研, 4奈良先端大・先端科学, 5ヘルシンキ大・バイオテクノロジー研, 6京都大・生態研)</p> <p>1aJ10 ミヤコグサ ASL18/LBD16 は NFY と結合して根粒の発達を正に制御する 征矢野敬^{1,2}, 林誠³, 川口正代司^{1,2} (1基生研, 2総研大, 3理研)</p> <p>1aJ11 一層の表皮が作られるしくみ: マスター転写因子 ATML1 の上流・下流因子の解明 飯田浩行¹, 吉田彩香¹, 高田希¹, 伊藤みはる¹, Gerd Jürgens², 高田忍¹ (1大阪・理・生物, 2ZMBP, Univ. Tübingen)</p> <p>1aJ12 シロイヌナズナによる矮化誘導機構の解析 中川藤¹, 竹内梨沙², 大沼巧¹, 柴田清孝 (石巻専修大・理工)</p>	<p>1aK09 ㊦ Identification and characterization of revertants of the <i>dde2/ein2/pad4/sid2</i>-quadruple mutant, which exhibit disease resistance Shuta Asai, Yu Ayukawa, Asuka Yoshida, Soshi Tsuchiya, Takuya Okubo, Ken Shirasu (Center for Sustainable Resource Science, RIKEN)</p> <p>1aK10 ポリコム複合体を介した植物免疫プライミングの分子制御機構 田島由理¹, Eva-Maria Reimer-Michalski², Eliza Po-lian Loo¹, Barbara Kracher², Franziska Turck², 佐藤昌直³, 西條雄介^{1,2} (1奈良先端大, 2マックスプランク研究所, 3北海道大学 農学研究院)</p> <p>1aK11 イネの植食性昆虫認識に関わる細胞壁由来エリシターの解析 新屋友規¹, 藤原由佳¹, 兵頭亮¹, 吉見圭永², 原克弥², 円谷陽一², 小竹敬久², Ivan Galis¹ (1岡山山大・植物研, 2埼玉大院・理工)</p> <p>1aK12 シロイヌナズナナリボキシゲナーゼ2は, カルシウムイオン制御によりガラクト糖脂質を酸化してみどりの香りバーストを引き起こす 望月智史, 松井健二 (山口大学・創成科学研究科)</p>	<p>1aL09 ㊦ Morphological regulation network in the insect galls of <i>Machilus thunbergii</i> in Taiwan Tin-Han Shih¹, Kai-Chieh Chang^{1,2}, Szu-Hsien Lin¹, Chi-Ming Yang¹ (1BRC Academia Sinica, Taipei, Taiwan, 2Department of Life Science, National Taiwan Normal University, Taipei, Taiwan)</p> <p>1aL10 ㊦ ERN1 may function as an additional regulator of NIN to promote infection thread formation in <i>Lotus japonicus</i> Meng Liu^{1,2}, Takashi Soyano^{1,2}, Koji Yano¹, Makoto Hayashi¹, Masayoshi Kawaguchi^{1,2} (1Division of Symbiotic Systems, National Institute for Basic Biology, 2Department of Basic Biology, School of Life Science, SOKENDAI, 3Center for Sustainable Resource Science, RIKEN)</p> <p>1aL11 ㊦ Phytopathogens: A good opportunity to improve rice culture under changing environmental conditions Marouane Baslam^{1,2}, Kimiko Itoh^{1,2}, Kentaro Kaneko^{1,2}, Kentaro Edurne³, Mohammad-Reza Hajirezaei¹, Karel Dolezal¹, Javier Pozueta-Romero³, Toshiaki Mitsui^{1,2} (1Faculty of Agriculture, Laboratory of Biochemistry, Niigata University, 2Department of Life and Food Sciences, Graduate School of Science and Technology, Niigata University, 3CSIC, UPNA, Gobierno de Navarra, Instituto de Agrobiotecnología, Spain, 4Leibniz Institute of Plant Genetics and Crop Plant Research (IPK), Gatersleben, Germany, 5Leibniz Institute of Plant Genetics and Crop Plant Research (IPK), Gatersleben, Germany)</p> <p>1aL12 ラン科植物の菌根共生における共生菌感染過程の細胞生物学的解析 三浦千裕¹, 才所美晴¹, 佐藤良勝², 谷本高広³, 東山哲也^{2,4}, 大和政秀⁵, 上中弘典¹ (1鳥取大農, 2名古屋大・WPI-ITbM, 3瑞穂町郷土資料館, 4名古屋大大学院, 5千葉大教育)</p>	<p>1aM09 MRI によるレンギョウ枝の凍結過程のセミアリアルタイム可視化解析 石川雅也¹, Timothy Stait-Gardner², 村川裕基¹, 山崎秀幸³, 朽津和幸¹, William S. Price² (1東京理科大学・応用生物, 2ウェスタンシドニ大, 3特許生物寄託センター)</p> <p>1aM10 栄養欠乏応答性のアブラナ科植物種間比較解析 中山香奈, 渡邊むつみ, 峠隆之 (奈良先端科学技術大学院大学 植物二次代謝研究室)</p> <p>1aM11 expression dynamics QTL に基づく野外におけるイネの環境応答の予測 鹿島誠¹, 坂本亮太^{1,2}, 齊藤大樹^{3,4}, 大久保智司⁵, 安達後輔⁶, 橋田庸一^{1,5}, 富澤和紀³, 手塚あゆみ¹, 出口亜由美¹, 栗田悠子¹, 永野惇⁶ (1龍大・食農研, 2清美高, 3京大・農, 4国農林水研・熱島研, 5東京農工大・グローバルイノベーション, 6龍大・農)</p> <p>1aM12 ハクサンハタザオにおける季節的な前歴環境による直接・間接プライミング 本庄三恵¹, 村中智明¹, 西尾治幾¹, 伊藤佑¹, 柴村奈緒子^{1,2}, 工藤洋¹ (1京都大・生態研, 2鹿児島大・農)</p>	<p>シンポジウム 03 Understanding the plant survival strategies from the perspective of stem cells (9:30-12:15)</p>	<p>システム生物学</p> <p>1aO09 高機能グロースチャンパー SmartGC を用いた野外の変動環境下におけるイネのトランスクリプトーム変動の再現 橋田庸一¹, 手塚あゆみ¹, 神谷麻梨¹, 鹿島誠¹, 栗田悠子¹, 永野惇² (1龍谷大・食農研, 2龍谷大・農)</p> <p>1aO10 植物個体間の相互作用を考慮した虫害のゲノムワイド関連解析 佐藤安弘¹, 清水 (稲織) 理恵², 山崎美紗子², 清水健太郎², 永野惇³ (1JST さきがけ・龍谷大学食と農の総合研究所, 2テューリッヒ大学, 3龍谷大学農学部)</p> <p>1aO11 データベース, PODC および CatchUP の更新情報 越水慶¹, 中村幸乃¹, 齋藤美沙¹, 菅野真麻¹, 南原英司², 矢野健太郎³ (1明治大 農, 2トロント大 細胞システムズ生物学)</p>	<p>11:30</p> <p>11:45</p> <p>12:00</p> <p>12:15</p>

㊦ = 発表の言語は英語

● 第 1 日 3 月 13 日 (水) 午後 (14:00-17:00)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
14:00	シンポジウムS04 植物の力学的最適化戦略をよみてへ (14:00-17:00)	シンポジウムS05 Metabolisms as Survival Strategy in Plants (14:00-17:00)	細胞周期・分裂	一次代謝・二次代謝	光合成・光合成の環境応答	シンポジウムS06 Plant adaptation strategies via ABA-mediated signaling in change of environmental conditions (14:00-17:00)	植物ホルモン/シグナル伝達物質	生殖成長
14:15			1pC01 植物の細胞質分裂を制御するシロイヌナズナMPK4 MAPKの新規基質の同定と機能解析 富田昌伸 ¹ , 三上裕大 ¹ , 中奥龍太郎 ¹ , 濱田隆宏 ² , 中神弘史 ³ , 橋本隆 ⁴ , 町田泰則 ⁵ , 笹部美知子 ¹ (弘前大・農生, ² 東京大・院・総合文化, ³ マックスプランク・植物育種研究所, ⁴ 奈良先端大・バイオ, ⁵ 名大院・理・生命)	1pD01 ゼニゴケの光合成応答性Raf様キナーゼを介したシヨ糖アンプルン分配制御の可能性 小出絵理 ¹ , 新宅明日架 ¹ , 寺井三佳 ¹ , 野村有子 ² , 四井いずみ ² , 末次憲之 ¹ , 中神弘史 ^{2,3} , 河内孝之 ¹ , 西浜竜一 ¹ (京大・院生命, ² 理研, CSRS, MPIPZ)	1pE01 気孔密度の改変が変動光に対する気孔開閉と光合成の応答性に及ぼす影響 追田和馬 ^{1,2} , 嶋田知生 ³ , 菅野茂夫 ^{4,5} , 西村いくこ ⁶ , 田中佑 ^{1,5} (京都大学農学研究所, ² 日本学術振興会 特別研究員 (DC2), ³ 京都大学理学研究科, 立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構, ⁴ 科学技術振興機構 さきかたけ, ⁵ 甲南大学理工学部)		1pG01 ㊟ Ancient Arabinogalactans Modulate Auxin Signaling In <i>Physcomitrella patens</i> To Regulate Polarity Ooi-Kock Teh ^{1,2} , Junling Ren ³ , Mitsuyasu Hasebe ⁴ , Tomomichi Fujita ¹ (IAHE, Univ. Hokkaido, ² Dept Biol. Sci., Univ. Hokkaido, ³ Univ. Louisville, Dept. Biol., ⁴ NIBB, Division Evol. Biol.)	1pH01 イネの幹細胞維持を制御する FON signaling と転写抑制因子 ASP1 の機能解析 鈴木千絵, 田中若奈, 平野博之 (東大・院理)
14:30			1pC02 細胞分裂進行に伴うステロール生成マシナリーの動態解析 山六祐果 ¹ , 不破峻香 ¹ , 海老根一生 ^{2,3} , 上田貴志 ^{2,3} , 太田大策 ¹ (阪府大・院生命環境, ² 基生研・細胞動態, ³ 総研大・生命科学)	1pD02 光合成シグナル伝達に関与するゼニゴケ Raf 様キナーゼの構造機能解析 新宅明日架, 小出絵理, 河内孝之, 西浜竜一 (京大・院生命)	1pE02 化学的に合成したエーテル型の PG が光化学系 II の光阻害に与える影響 神保晴彦 ¹ , 遠藤嘉一郎 ² , 安部真人 ³ , 和田元 ¹ (東大・院・総合文化, ² マロポルスカバイオテクノロジーセンター, ヤゲロニアン大学, ポーランド, ³ 愛媛大・院・農学)		1pG02 ㊟ Biochemical analysis of phenylacetic acid methyltransferase gene for auxin metabolism in Arabidopsis Eiko Takubo ¹ , Makoto Kobayashi ² , Kosuke Fukui ³ , Ken-ichiro Hayashi ¹ , Hiroyuki Kasahara ¹ (Grad. Sch. Agric., Tokyo Univ. Agric. Tech., ² RIKEN CSRS, ³ Dep. Biochem., Okayama Univ. Sci., ⁴ GIR, Tokyo Univ. Agri. Tech.)	1pH02 BELL1型ホメオドメイン転写因子をコードする <i>RI</i> と <i>RIL1</i> 遺伝子は花序構築とメリステムの維持を制御する 池田拓之 ¹ , 田中若奈 ¹ , 鳥羽大陽 ^{1,2} , 前野哲輝 ³ , 津田勝利 ⁴ , 城石俊彦 ⁵ , 倉田哲也 ⁶ , 坂本智昭 ⁷ , 村井正之 ⁶ , 松坂弘明 ⁸ , 熊丸敏博 ⁷ , 平野博之 ¹ (東大・院理, ² 東北大・院生命, ³ 国立遺伝研, ⁴ エディットフォース, ⁵ 京産大・生命, ⁶ 高知大, ⁷ 九州大・院理)
14:45			1pC03 ㊟ Identification and Characterization of a Putative Borealin in Arabidopsis Shinichiro Komaki ¹ , Yuki Hamamura ² , Maren Hesse ² , Takashi Hashimoto ³ , Arp Schmittger ² (Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST, ² Univ. Hamburg)	1pD03 ゼニゴケにおけるセリン生成酵素3-ホスホグリセリン酸デヒドロゲナーゼの機能 明石寛道 ^{1,2} , 桑原亜由子 ¹ , 西浜竜一 ³ , 松田頼子 ³ , 多部田弘光 ^{1,4} , 岡村英治 ¹ , Ali Ferjani ¹ , 河内孝之 ² , 平井優美 ^{1,2} (理研 CSRS, ² 名大・院生命農, ³ 京大・院生命科学, ⁴ 東京学芸大・教育・生命)	1pE03 海洋性紅色光合成細菌の窒素固定及び二酸化炭素固定反応を利用したバイオペロマー生産系の構築 樋口(竹内)美栄子, 沼田圭司 (理化学研究所植物科学研究センター 酵素研究チーム)		1pG03 シロイヌナズナにおける CYP79A2 依存的なフェニル酢酸生成経路 青井勇輝 ¹ , 武田紀子 ² , 竹林裕美子 ³ , 林謙一郎 ³ , 笠原博幸 ^{1,4} (東京農工大・院農, ² 理研・CSRS, ³ 岡山理科大・理, ⁴ 東京農工大・GIR)	1pH03 ㊟ Two quantitative trait loci for panicle length influence panicle architecture in rice. Ayumi Agata ¹ , Tokunori Hobo ² , Koki Ando ¹ , Yasuko Fujishiro ¹ , Takamasa Suzuki ¹ , Hitoshi Sakakibara ¹ , Sayaka Takehara ² , Miyako Ueguchi-Tanaka ² , Makoto Matsuoka ² , Kazuyuki Doi ¹ , Motoyuki Ashikari ² , Hidemi Kitano ² (Grad. Sch. Bioagr. Sci., Nagoya U., ² Biosci. Biotech. Ctr., Nagoya U., ³ CSRS, RIKEN, ⁴ Grad. Sch. Biosci. Biotech., Chubu U.)
	1pC04 ㊟ Exploring Function of TPX2 Protein in Microtubule Organization in Moss <i>Physcomitrella patens</i> . Elena Kozgunova, Gohta Goshima (Nagoya University, Graduate School of Science)	1pD04 イネ品種間差を利用したメタボローム解析によるシュウ酸蓄積機構の解明 宮城敦子 ¹ , 安達俊輔 ² , 大川泰一郎 ² , 川合真紀 ¹ (埼玉大・院・理工, ² 東京農工大・院・農)	1pE04 緑藻クラミドモナスの CCM 必須因子 LCIB の局在変化は CO ₂ 濃度依存性かつ CCM1 制御を受ける 豊川知華, 松岡俊樹, 山野隆志, 福澤秀哉 (京都市大・院生命科学)	1pG04 ㊟ Spatio-temporal Analysis of Gene Expression and Phytohormones During Tissue-reunion in Incised <i>Arabidopsis</i> Flowering Stems. Kazuki Yamada ^{1,5} , Miyuki Nakanawatari ¹ , Emi Yumoto ¹ , Yukio Noda ² , Ryuichi Koike ² , Takao Yokota ² , Hisakazu Yamane ² , Hiroki Tsutsui ¹ , Michitaka Notaguchi ¹ , Takamasa Suzuki ¹ , Shinobu Satoh ⁶ , Masashi Asahina ^{1,2,3} (Grad. Sch. Sci. & Eng., Teikyo Univ., ² Dept. Biosci., Teikyo Univ., ³ Adv. Instrum. Anal. Cent., Teikyo Univ., ⁴ Grad. Sch. Bio. Agr. Sci., Nagoya Univ., ⁵ Biosci. Biotech., Chubu Univ., ⁶ Life & Environ Sci., Univ. Tsukuba.)	1pH04 イネにおける心皮の決定メカニズムの解析 杉山茂大 ¹ , 安居佑季 ^{1,2} , 大森涼葉 ^{1,2} , 田中若奈 ¹ , 平野博之 ¹ (東大・院理, ² 神戸大・院理, ³ 明大・農)			

I 会場	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時間
オルガネラ/細胞骨格	栄養成長	植物生物間相互作用 A	転写・翻訳・翻訳後制御	環境応答 B		システム生物学	
<p>1pI01 TOR (target of rapamycin) による葉緑体のリボソーム合成と細胞質リボソーム合成を共役させる調節機構 今村壮輔¹, 野村勇太², 竹村時空¹, Imran Pancho¹, 瀧景子¹, 渡口和樹¹, 戸澤譲², 田中寛¹ (東工大・化生研, ²埼玉大・理工学研究科)</p> <p>1pI02 葉緑体核様体のかたちを司る DNA リガーゼの同定 西村芳樹¹, 小林優介², 浜地貴志¹, 鹿内利治¹ (京大・理・植物分子遺伝, ²遺伝研・共生細胞進化)</p> <p>1pI03 ペントトリコペプチドドリンタンパク質 PGR3 は葉緑体コード NDH サブユニットである <i>ndhG</i> の翻訳を制御する 東遥香¹, 加藤義宣¹, 藤田智也^{2,3}, 水戸麻理¹, 岩崎信太郎^{2,4}, 西村芳樹¹, 竹中瑞樹¹, 鹿内利治¹ (京大・院理, ²理研・開拓研究本部, ³東工大・院・研究, ⁴東大・院・新領域)</p> <p>1pI04 ヒメツリガネゴケのミトコンドリア P-class PPR タンパク質の機能解析 一瀬瑞穂^{1,2}, 杉田謙¹ (名大・遺伝子, ²名大・ITbM)</p>	<p>1pJ01 幹細胞らしさを負に制御する遺伝子の解析 榎本竜二 (京大・院理)</p> <p>1pJ02 シロイヌナズナの脱分化およびシュート再分化過程における糖転移酵素 SEC の機能解析 魚山貴裕, 中川海人, 亀村和生, 林誠, 今村綾 (長浜バイオ大学 バイオサイエンス研究科)</p> <p>1pJ03 シロイヌナズナの 2,4-D 誘導カスにおける内生 IAA によるシュート再生能の負の制御 坂本優希¹, 加仁美², 笠原博幸³, 杉山宗隆¹ (東京大・院理, ²東京農工大・院農, ³東京農工大・グローバルイノベーション研究科)</p> <p>1pJ04 シロイヌナズナ葉肉プロプラストを用いた細胞の分化可塑性の機構解析 坂本優希^{1,2}, 鈴木孝征³, 杉本慶子^{1,2} (東京大・院・理・生物科学, ²理研・環境資源科学, ³中部大・応用生物)</p>	<p>1pK01 ㊦ Damage-associated Peptides influence root architecture and microbiome in rice Masako Fujii¹, Yuniar Devi Utami^{1,2}, Shigetaka Yasuda¹, Rena Tani¹, Yuichi Hongoh¹, Yutaka Sato³, Yusuke Saijo⁴ (Grad. Sch. Sci. Tech., NAIST, Sch. Life Sci. Tech., Tokyo Tech, NIG)</p> <p>1pK02 細胞の水輸送制御を介した植物の防御応答機構 平瀬大志¹, 安田盛貴¹, Lionel Verdoque², 山田晃嗣³, Iris Finkemeier⁴, 中神弘史^{5,6}, Christophe Maurel⁷, 西條雄介^{1,3} (奈良先端大・バイオ, ²Biochimie et Physiologie Moleculaire des Plantes, CNRS, ³Max Planck Institute for Plant Breeding Research, ⁴Institute for Plant Biology and Biotechnology, Univ. Munster, ⁵CSRS, RIKEN)</p> <p>1pK03 リン栄養情報に基づく植物の免疫制御 李泰洪¹, 田中碧¹, 平瀬大志¹, 安田盛貴¹, 晝間敬^{1,2}, 西條雄介¹ (奈良先端大・バイオ, ²さきがけ)</p> <p>1pK04 リン枯渇条件におけるシロイヌナズナのカロース合成関連遺伝子の機能解析 岡田健太郎, 谷地洗映, 晝間敬, 西條雄介 (奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科)</p>	<p>1pL01 シロイヌナズナゲノムで新規に出現する転写開始点群の解析 畑貴之¹, 佐藤壮一郎¹, 高田直東¹, 風間明¹, 早川千明¹, 立川誠¹, 松尾充啓¹, Sergei Kushnir², 小保方潤一¹ (京都府立大院・生命環境, ²Sus. Dev., Vale Inst. of Tech.)</p> <p>1pL02 ネギ粘液タンパクの部位別遺伝子発現 竹内敦子, 上田浩史 (農研機構野菜花き研究部門)</p> <p>1pL03 シロイヌナズナにおける 5-アミノレブリン酸に応答した転写制御 今村奈央¹, 鶴山果歩¹, 岩村咲良², 坂本みのり², 黒田修司², 宇野知秀², 金丸研吾² (神戸大学農学部生物化学研究室, ²神戸大学大学院農学研究科生物化学研究室)</p> <p>1pL04 Arabidopsis response regulator 14 を介した色素体内イソペンテンル二リン酸代謝経路酵素の制御機構の解析 太久保節美¹, 進藤雅志¹, 橋川博一², 高林佑輔², 萬年一斗², 山家史大², 和氣駿之², 高橋誠司², 中山亨² (東北大・工, ²東北大・院・工)</p>	<p>1pM01 ㊦ Functional complementation of ABA biosynthesis using cell-type specific promoters Takashi Kuromori, Eriko Sugimoto, Kazuo Shinozaki (RIKEN CSRS)</p> <p>1pM02 ABA 応答を担うプロモーターの再構成実験 土屋沢実¹, 趙成日¹, Sahoo Smita⁵, K. Panda Sanjib⁵, 連水菜月¹, 圓山恭之進⁶, 井内聖¹, 山本義治^{1,2,3} (岐阜大・院自然科学技術, ²岐阜大・応用生物, ³理研・CSRS, ⁴理研・BRS, ⁵アッサム大・バイオテクノロジー, ⁶農理研・JIRCAS)</p> <p>1pM03 ㊦ Ethanol mediated drought stress tolerance in plants Khurram Bashir¹, Sultana Rasheed¹, Maho Tanaka², Chien Van Ha¹, Yoshiaki Habu¹, Yuuri Tsubui¹, Jun Kikuchi^{1,5,6}, Shunsuke Watanabe⁷, Mitsunori Seo⁷, Eigo Ando⁸, Toshimori Kinoshita¹, Makoto Seito⁹, Kanako Kawaura¹, Miki Fujita¹⁰, Kazuo Shinozaki¹⁰, Motoaki Seki¹¹ (Plant Genomic Network Research Team RIKEN CSRS, ²Plant Epigenome Regulation Laboratory, CPR, RIKEN, ³Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, ⁴Environmental Metabolic Analysis Research Team, CSRS, RIKEN, ⁵Graduate School of Medical Life Science, Yokohama City University, ⁶Graduate School of Biogricultural Sciences and School of Agricultural Sciences, Nagoya University, ⁷Dormancy and Adaptation Research Unit CSRS, RIKEN, ⁸Graduate School of Science, Nagoya University, ⁹Kihara Institute for Biological Research, Yokohama City University, ¹⁰Gene Discovery Research Group CSRS, RIKEN, ¹¹CREST, JST, 4-1-8 Honcho, Kawaguchi, Saitama, 332-0012, Japan)</p> <p>1pM04 アブジジン酸受容体を利用したコムギの水利用効率と耐乾性の改良 岡本昌憲^{1,2}, 安倍史高³, 菊地淳⁴, 妻鹿亮介³ (宇都宮大, ²さきがけ, ³農研機構, ⁴理研, ⁵鳥取大)</p>	<p>1pO01 生成モデルによる高等植物の遺伝子発現空間の推定 青木裕一^{1,2}, 大林武², 木下賢吾^{1,2} (東北大学 東北メテオカル・メカバンク機構, ²東北大学 情報科学研究科)</p> <p>1pO02 ㊦ Unification of microarray-based and RNAseq-based coexpression data in ATTED-II. Takeshi Ohayashi¹, Yuichi Aoki² (Grad. Sch. Info. Sci., Tohoku Univ., ²ToMMo, Tohoku Univ.)</p> <p>1pO03 トマトの単為結果に関わる鍵遺伝子共発現ネットワーク解析による新規候補遺伝子の探索 神谷健¹, Tuan Nam Vu¹, 福島敦史¹, 羽尾周平¹, 篠崎良仁², 王寧^{1,2}, 有泉亨^{1,2}, 江面浩^{1,2}, 草野都^{1,2,3} (筑波大・院生命環境科学, ²筑波大・生命環境系, ³理研・CSRS)</p> <p>1pO04 質量分析計を使ったタンパク質の定量法 森仁志 (名古屋大・院生命科学)</p>	<p>14:00</p> <p>14:15</p> <p>14:30</p> <p>14:45</p>	

㊦ = 発表の言語は英語

● 第 1 日 3 月 13 日 (水) 午後 (14:00-17:00)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
15:00	シンポジウム S04	シンポジウム S05	細胞周期・分裂	一次代謝・二次代謝	光合成・光合成の環境応答	シンポジウム S06	植物ホルモン/シグナル伝達物質	生殖成長
15:15	植物の力学的最適化戦略をよみてく (14:00-17:00)	Metabolisms as Survival Strategy in Plants (14:00-17:00)	1pC05 DNA 損傷に応答した細胞周期停止を制御する転写因子複合体の同定 高橋知伸, 荻田伸夫, 谷口昌司, 高橋直紀, 梅田正明 (奈良先端科学技術大学院大学)	1pD05 植物のスフィンゴ脂質糖鎖型を決定する新奇糖転移酵素石川寿樹, 川合真紀 (埼玉大・院理工)	1pE05 高い葉の光合成速度を示すイネ系統の日射利用率の解析 寺崎千鶴 ¹ , 吉田ひろえ ² , 桂圭佑 ¹ , 大川泰一郎 ¹ , 安達俊輔 ¹ (¹ 東京農工大学大学院農学部, ² 農研機構 農業環境変動研究センター)	1pG05 珠皮の成長過程における TMK シグナリングの役割 宮脇香織 ¹ , 常明増 ² , 玉フェン ² , 王水 ² , 東山哲也 ^{1,3} , 楊貞標 ⁴ (¹ 名古屋大学・トランスフォーマティブ生命分子研究所, ² 上海植物逆境生物学研究センター, ³ 名古屋大学・院理, ⁴ カリフォルニア大学リバーサイド校)	1pH05 イネの花粉形成に必須の OsMYB80 転写因子 川岸万紀子 ¹ , 黒田昌治 ² , 鈴木翔 ³ , 戸澤謙 ³ , 東谷篤志 ⁴ (¹ 農研機構・生物機能, ² 農研機構・中央農研, ³ 埼玉大・院理工学, ⁴ 東北大・院生命科学)	
15:30			1pC06 ストレスに応答した細胞周期停止の制御機構の解明 高橋直紀, 荻田伸夫, 高橋知伸, 谷口昌司, 梅田正明 (奈良先端大・先端科学)	1pD06 <i>Euglena gracilis</i> におけるワックスエステル代謝調節因子 WSRK の同定と機能解析 石井佑樹 ¹ , 木村光宏 ¹ , 小川貴央 ¹ , 丸田隆典 ¹ , 森大 ^{2,3} , 石川孝博 ¹ (¹ 島根大・生資科・生命工, ² 慶應大・先端生命研, ³ 慶應大・政策・メディア)	1pE06 気孔応答は変動光条件下におけるバイオマス向上のターゲットとなる 木村達希 ¹ , 橋本(杉本)美海 ² , 射場厚 ³ , 寺島一郎 ¹ , 矢守航 ¹ (¹ 東大・院理・生物科学, ² 名古屋大・院・生命工学, ³ 九州大・院理・生物科学)	1pG06 活性酸素種と活性カルボニル種はオーキシンの側根形成シグナルをフィードフォワード調節する 中原一寛 ¹ , Md. Sanaullah Biswas ² , 深城英弘 ³ , 森泉 ⁴ , 真野純一 ⁵ (¹ 山口大・農, ² Dept. Horticulture, BSMR Agricultural Univ., ³ 神戸大・院理学, ⁴ 岡山大・植物資源研, ⁵ 山口大・総合科学セ)	1pH06 ㊦ Gibberellin Precursor Is Involved in Sexual Organ Formation in the Liverwort <i>Marchantia polymorpha</i> Rui Sun, Ran Wang, Ryunosuke Kusunoki, Keisuke Inoue, Ryuichi Nishihama, Shohei Yamaoka, Takayuki Kohchi (Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ.)	
15:45			1pC07 イネの細胞周期進行におけるヒストンメチル化の役割 鈴木信一郎, 高塚大知, 梅田正明 (奈良先端科学技術大学院大学)	1pD07 形成過程のスキ雄花芽の糖成分解析 伊ヶ崎知弘 ¹ , 菱山正二郎 ² , 掛川弘一 ² (¹ 森林総合研究所 (FFPRI) 樹木分子遺伝研究領域, ² 森林総合研究所 (FFPRI) 森林資源化学研究領域)	1pE07 クチクラ形成異常により表皮透過性が高まったシロイヌナズナ変異体 <i>ihc1</i> の光合成特性の解析 門田壽奈 ¹ , 東森峻馬 ¹ , 高橋將 ¹ , 柳宜淳太郎 ¹ , 馬淵敦士 ¹ , 寺島一郎 ² , 矢守航 ² , 射場厚 ³ (¹ 九州大・院理・生物科学, ² 東京大・院理・生物科学)	1pG07 単軸藻植物門クレブソルミデイウムにおける原始的オーキシンの応答に関する新規因子の探索 瀧底かなみ, 堀孝一, 下嶋美恵, 太田啓之 (東京工業大学生命理工学院)	1pH07 メチル基転移酵素ファミリー遺伝子による苔類ゼニゴケの生殖器官形成の制御 川村昇吾, 山岡高平, 楠龍之介, Rui Sun, 西沢竜一, 河内孝之 (京都大学院生命科学研究所)	
16:00	1pC08 ㊦ Distinct regulation of G2 progression in the root epidermis Teruki Sugiyama, Masaaki Umeda (Nara Institute of Science and Technology)	1pD08 クロロフィル生合成酵素遺伝子の発現を制御する転写因子の探索 小田(山溝)千尋 ^{1,2} , 大宮あけみ ³ , 光田展隆 ⁴ , 坂本真吾 ⁵ , 中道範人 ⁵ , 藤田泰成 ^{1,6} (¹ 国際農研生物資源・利用領域, ² 日本学術振興会・特別研究員, ³ 農研機構・野菜花き研究部門, ⁴ 産総研, ⁵ 名古屋大学・ITbM, ⁶ 筑波大学・生命環境)	1pE08 水陸両生植物 <i>Hygrophila difformis</i> は水中環境での光合成において HCO ₃ ⁻ を利用する掘口元気, 廣津直樹 (東洋大・院生命)	1pG08 環境応答に関わる CLE ペプチドシグナルの役割 下遠野明恵, 福田裕徳 (東京大学 理学系研究科)	1pH08 シロイヌナズナにおけるジャスモン酸を介した花弁の成長と老化制御 上村祥, 山口暢俊, 伊藤寿朗 (奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 花発生分子遺伝学研究室)			
	1pC09 シロイヌナズナにおけるゲノム倍体化が根端成長と染色体動態へ及ぼす影響の解析 菊池涼夏 ¹ , 近藤衣里 ¹ , 杉山宗隆 ² , 岩元明敏 ¹ (¹ 東京学芸大・自然科学・生命, ² 東大院・理・植物園)	1pD09 ㊦ Chlorophyll Degradation Pathways in Chl-deficient Mutants of Rice (<i>Oryza sativa</i>) Szu-Hsien Lin ¹ , Minh-Khiem Nguyen ¹ , Tin-Han Shih ¹ , Chi-Ming Yang ¹ (¹ Biodiversity Research Center, Academia Sinica, ² Faculty of Applied Science, Ton Duc Thang University)	1pE09 クライオ電子顕微鏡による PSI-isiA 超複合体の単粒子構造解析 秋田総理 ^{1,2} , 長尾遼 ¹ , 加藤公見 ¹ , 中島芳樹 ¹ , 沈建仁 ¹ , 宮崎直幸 ³ (¹ 岡大・異分野, ² JST・さきがけ, ³ 阪大・蛋白研)	1pG09 篩管移行性ペプチドによる葉の窒素状態に応じた根での窒素取り込み制御 太田峻友, 大久保祐里, 小川(大西)真理, 松林嘉克 (名大・院理)	1pH09 Global Proliferative Arrest に関わるシロイヌナズナ FIREWORKS 遺伝子の同定 今井翔 ¹ , 廣澤ひかる ¹ , 鈴木孝征 ² , 小鍛冶敬生 ³ , 望月伸悦 ³ , 長谷あきら ³ , 上口智治 ¹ (¹ 名古屋大・生物機能開発利用研究センター, ² 中部大・応用生物, ³ 京大院・理・生物科学)			

I 会場	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時間
オルガネラ/細胞骨格	栄養成長	植物生物間相互作用 A	転写・翻訳・翻訳後制御	環境応答 B		システム生物学	
<p>1pI05 葉緑体 ndh 遺伝子の転写後制御に関わる PPR タンパク質 伊藤綾花¹, 杉田千恵子¹, 一瀬瑞穂^{1,2}, 加藤義宣³, 山本宏³, 鹿内利治³, 杉田護¹ (1名大・遺伝子, 2名大・ITbM, 3京大院・理)</p>	<p>1pJ05 ゼニゴケの2つのR2R3-MYB型転写因子を介した異なる幹細胞性獲得制御機構 安居佑季子¹, 塚本成幸¹, 石田咲子², 西浜竜一², 深城英弘¹, 三村徹郎¹, 河内孝之², 石崎公庸¹ (1神戸大・院・理, 2京大院・生命科学)</p>	<p>1pK05 シロイヌナズナと植物成長促進真菌 <i>Colletotrichum tofieldiae</i> との共生における BAK1 の役割 井上拓磨¹, 安田盛貴¹, 晝間敬^{1,2}, 平瀬大志¹, 鈴木裕貴¹, 西條雄介¹ (1奈良先端大学・先端科学研究科, 2JST さきがけ)</p>	<p>1pL05 GAF1とその相互作用因子によるジベレリン生合成酵素遺伝子の転写制御 伊藤岳, 勝部隆義, 深澤壽太郎, 高橋陽介 (広島大・院理)</p>	<p>1pM05 反射分光を用いた植物の強光乾燥ストレス応答の検出 上妻馨梨, 彦坂幸毅 (東北大・生命)</p>		<p>1pO05  Anthesis rate prediction of greenhouse tomatoes through metabolomics using Lasso regularized linear regression model Ratklao Siriwach¹, Jun Matsuzaki¹, Takeshi Saito², Muneco Sato¹, Yuji Sawada¹, Masanori Arita^{1,3}, Tadahisa Higashide², Kentaro Yano⁴, Masami Yokota Hirai¹ (1RIKEN Center for Sustainable Resource Science(CSRS), 2Institute of Vegetable and Floriculture Science, 3National Institute of Genetics, 4Bioinformatics Laboratory, Department of Life Sciences, School of Agriculture, Meiji University)</p>	15:00
<p>1pI06 Pクラス・ベントリコペプチドタンパク質は葉緑体 psbl-ycf12 mRNA の蓄積に必要である 海老原哲男¹, 松田拓也¹, 杉田千恵子¹, 一瀬瑞穂^{1,2}, 山本宏³, 鹿内利治³, 杉田護¹ (1名大・遺伝子, 2名大・ITbM, 3京大院・理)</p>	<p>1pJ06 ゼニゴケにおける MpCLE2 の内在的な機能の解析 平川有字樹¹, 藤本章子¹, 打田直行¹, 澤進一郎², 石崎公庸¹, 西浜竜一², 河内孝之², 清未知宏¹, ボウマン・ジョン¹ (1学習院大・理, 2名大・ITbM, 3熊大・院自然, 4神大・院理, 5京大・院生命, 6モナシユ大・生物)</p>	<p>1pK06 イネ免疫タンパク PBI1 による WRKY45 の活性制御機構 繁田修佑¹, 一丸航太¹, 原田健一², 井上健斗¹, 安藤駿彦¹, 吉村智美¹, 山口公志¹, 見嶋長次郎^{2,3}, 川崎努¹ (1近畿大・院農, 2大阪大蛋白質研, 3横浜国大工)</p>	<p>1pL06 陸上植物における3つの AUXIN RESPONSE FACTOR サブファミリーの機能分化 加藤大貴, Sumanth Mutte, Dolf Weijers (Wageningen 大・生化学)</p>	<p>1pM06 ヒメツリガネゴケにおける B3 MAPKKK を介した SnRK2 活性化の制御機構解析 島山士¹, 猿橋正史², 竹澤大輔², 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹ (1東京農業大学・院・バイオ, 2埼玉大学理工学研究科)</p>		<p>1pO06 イネ登熟期間における代謝物の変化 若山正隆¹, 北吉明¹, 阿部洋平², 芦野祐尋¹, 小倉立己¹, 門脇里恵¹, 曾我朋義^{1,2}, 富田勝^{1,2} (1慶應義塾大学先端生命科学研究所, 2慶應義塾大学政策・メディア研究科, 3山形県農業総合研究センター 水田農業試験場)</p>	15:15
<p>1pI07 核様体局在の HMGB タンパク質が DNA 結合ドメインを2つもつ利点 田草川真理¹, 小林優介¹, 深尾陽一朗¹, 日高久美¹, 遠藤政幸¹, 杉山弘^{1,3}, 宮川勇¹, 鹿内利治³, 三角修己⁴, 西村芳樹¹ (1京都大・院・理学, 2立命館大・生命情報, 3京都大・iCeMS, 4山口大・院・創成科学)</p>	<p>1pJ07 ゼニゴケの頂端分裂組織周辺における ROS 生成酵素 MpRbohA の役割の解析 萩原雄樹¹, 宮本大輔¹, 高川智弘¹, 橋本研志², 西浜竜一², 石崎公庸¹, 河内孝之², 柁津和幸^{1,2} (1東京理科大学・理工・応用生物科学, 2東京理科大学イメージングフロンティアセンター, 3京都大・院・生命, 4神戸大・院・理)</p>	<p>1pK07 植物免疫応答における光合成活性抑制は葉緑体の ROS 生産を誘導する 小川豊也¹, 安達広明², 吉岡美樹¹, 杉浦大輔¹, 吉岡博文¹ (1名大院生農, 2センズバリーラボラトリー)</p>	<p>1pL07 小胞体ストレス応答性転写因子 bZIP17, bZIP28 による根部伸長制御 June-Sik Kim¹, 坂本勇貴², 高橋史憲¹, 小嶋美紀子¹, 浦野薫¹, 榊原均¹, 松永幸大³, 篠崎和子¹, 篠崎一雄¹ (1理研 CSRS, 2東理大・総研院・イメージングセンター, 3東理大・理工・応用生物科学, 4東大院・農学生命科学)</p>	<p>1pM07 乾燥ストレス条件下において組織特異的に生合成されるアブシシン酸前駆体およびアブシシン酸の器官間の移動 巨高太輔¹, 田川祐真¹, 最上惇郎¹, 渡邊俊介², 瀬尾光範², 筒井大貴¹, 川勝弥一², 野田口理孝^{2,4}, 篠崎和子¹ (1東大院・農学生命科学, 2理研・環境資源科学研究セ, 3名大院・生命農学, 4JST・さきがけ)</p>		<p>1pO07  Evaluation of various seaweeds by water-soluble metabolites Shahlizah Sahul Hamid^{1,2}, Masataka Wakayama^{1,2}, Kensuke Ichihara¹, Katsutoshi Sakurai¹, Yujin Ashino¹, Rie Kadowaki¹, Tomoyoshi Soga^{1,2}, Masaru Tomita¹ (1Inst. Adv. Bio. Sci., Keio Univ., 2Grad. Sch. Media and Governance, 3Field Sci. Center, Hokkaido Univ., 4Yamagata Prefectural Fishery Institute)</p>	15:30
<p>1pI08  GUN1 regulates tetrapyrrole biosynthesis in Arabidopsis Tatsuru Masuda¹, Takayuki Shimizu¹, Nobuyoshi Mochizuki², Akira Nagatani², Satoru Watanabe³, Kacprzak Sylwia⁴, Haruko Okamoto⁴, Terry Matthew⁴ (1Grad. Sch. Arts Sci., Univ. Tokyo, 2Grad. Sch. Sci. Kyoto Univ., 3Dept. Biosci., Tokyo Agricul. Univ., 4Sch. Biol. Sci., Univ. Southampton)</p>	<p>1pJ08 シュート再生効率に関与するエビ変異同定の試み 平沢賢¹, 前地弘志¹, 太田英恵¹, 山本章子², 佐藤英俊², 永野博⁴, 武田真², 服部東穂², 西村泰介¹ (1長岡技術科大・院工, 2名古屋大・生物機能開発利用研究センター, 3沖縄科技大, 4龍谷大)</p>	<p>1pK08 緑葉揮発性物質を介した植物間コミュニケーションの可視化 荒谷優里, 豊田正嗣 (埼玉大学大学院理工学研究科)</p>	<p>1pL08 通水細胞形成マスター制御因子 VNS 転写因子群のシス配列結合親和性の解析 秋吉信宏¹, 中野仁美¹, 櫻田雄祐¹, 大谷美沙都^{1,2}, 農村拓^{1,2} (1奈良先端科学技術大学院大学, 2理研 CSRS)</p>	<p>1pM08 シロイヌナズナにおけるサブクラス I SnRK2 の活性を制御するプロテインキナーゼの同定 相馬史幸¹, 高橋史憲², 鈴木孝征², 篠崎一雄², 篠崎和子¹ (1東大院・農学生命科学, 2理研・環境資源科学研究セ, 3中部大学・応用生物)</p>		<p>1pO08 SnRK2 遺伝子ファミリーの機能進化解析 篠澤章久¹, 大竹亮子¹, Andrew C. Cuming², 小松憲治³, 竹澤大輔⁴, 梅澤泰史², 太治輝昭¹, 林隆久¹, 坂田洋一¹ (1東京農業大・院・バイオ, 2Univ. of Leeds, 3東京農業大学・生物資源開発学, 4埼玉大学理工学研究科, 5東京農工大・BASE)</p>	15:45
<p>1pI09 トマトの Ghost White 遺伝子の機能解析 金城雄司¹, 鈴木裕里¹, 馬剛¹, 白澤健太¹, 岡部佳弘¹, 江面浩¹, 本橋金子¹ (1静岡大学農学部, 2かずさ DNA 研究所 先端研究部, 3筑波大学・生命環境)</p>	<p>1pJ09  Chromatin remodeling factors are required for de-novo shoot regeneration in Arabidopsis thaliana Mariana Diaz, Kaoru Sugimoto, Takuya Sakamoto, Sachihiko Matsunaga (Matsunaga laboratory, Tokyo University of Science)</p>	<p>1pK09 雨はシロイヌナズナの原始免疫系を惹起する 松村護¹, 野元美佳^{1,2}, 板谷知健¹, 岩本瑞生³, 鈴木孝征⁴, 塚越啓典⁵, 豊田正嗣¹, 別役重之⁷, 多田安臣^{1,2} (1名大・院生命理, 2名大・遺伝子, 3筑波大・院生命環境系, 4中部大・応生, 5JST さきがけ, 6名城大・農, 7埼玉大・院理工)</p>	<p>1pL09 システインエンドペプチダーゼをコードする OsPR7 遺伝子の転写制御機構の解析 西村成史¹, 平井洋行², 古川岳人², 仲下英雄³, 蔡見植^{1,2} (1長浜バイオ大学大学院・バイオ, 2長浜バイオ大学・バイオ, 3福井県大・生資)</p>	<p>1pM09 SnRK2 遺伝子ファミリーの機能進化解析 篠澤章久¹, 大竹亮子¹, Andrew C. Cuming², 小松憲治³, 竹澤大輔⁴, 梅澤泰史², 太治輝昭¹, 林隆久¹, 坂田洋一¹ (1東京農業大・院・バイオ, 2Univ. of Leeds, 3東京農業大学・生物資源開発学, 4埼玉大学理工学研究科, 5東京農工大・BASE)</p>		<p>1pO09 SnRK2 遺伝子ファミリーの機能進化解析 篠澤章久¹, 大竹亮子¹, Andrew C. Cuming², 小松憲治³, 竹澤大輔⁴, 梅澤泰史², 太治輝昭¹, 林隆久¹, 坂田洋一¹ (1東京農業大・院・バイオ, 2Univ. of Leeds, 3東京農業大学・生物資源開発学, 4埼玉大学理工学研究科, 5東京農工大・BASE)</p>	16:00

 = 発表の言語は英語

● 第 1 日 3 月 13 日 (水) 午後 (14:00-17:00)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
16:15	シンポジウムS04 植物の力学的最適化戦略をよみてく (14:00-17:00)	シンポジウムS05 Metabolisms as Survival Strategy in Plants (14:00-17:00)	細胞周期・分裂	一次代謝・二次代謝		シンポジウムS06 Plant adaptation strategies via ABA-mediated signaling in change of environmental conditions (14:00-17:00)	植物ホルモン/ シグナル伝達物質	生殖成長
16:30			1pC10 シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC6803における酸性ストレス下での肥大化とATP依存型プロテアーゼ ClpXPの関与 甲賀栄貴 ¹ , 金丸未来 ¹ , 斎藤慶和 ² , 中原凌波 ¹ , 今井田明子 ¹ , 内山純爾 ^{1,3} , 太田尚孝 ^{1,3} (1東京理科大学 院 理学研究科, 2東京理科大学 基礎工学部, 3東京理科大学 理学部)	1pD10 ㊟ Studies on rapid color change of immature black soybean's seed coat Yada Teppabut ¹ , Yuhsuke Nakane ¹ , Reo Sawaguchi ¹ , Kin-ichi Oyama ² , Tadao Kondo ¹ , Kumi Yoshida ¹ (1Graduated School of Informatics, Nagoya University, 2Research Center for Materials Science, Nagoya University)			1pG10 立体構造解析によるCIFペプチドの新規な結合様式の解明 奥田哲弘 ¹ , Satoshi Fujita ² , Veronica G. Doblas ² , Andrea Moretti ¹ , Niko Geldner ¹ , Michael Hothorn ¹ (1Dep. Botany and Plant Biol., Univ. Geneva, 2Dep. Plant Mol. Biol., Univ. Lausanne)	1pH10 シロイヌナズナの開花と枯死に関する季節同調の研究 嘉美千歳, 工藤洋 (京都大学生態学研究センター)
16:45			1pD11 アジサイガク片の cryo-TOF-SIMS 分析による青色色素錯体及びアルミニウム化学種のマッピング 伊藤登明 ¹ , 青木輝 ² , 福島和彦 ² , 吉田久美 ³ (1名大・院情報科学, 2名大・院生命農学, 3名大・院情報学)	1pD12 イネ8品種の窒素応答性の比較解析: 生理特性とトランスクリプトームの比較 門脇太朗 ¹ , 中島一博 ¹ , 金谷賢 ¹ , 植田佳明 ² , 柳澤修 ² , 徳富(宮尾)光恵 ¹ (1東北大・農学研究科, 2東大・生物生産工学研究センター)			1pG11 イネにおけるジャスモン酸受容体構成因子 COI1ホモログの機能解析 稲垣秀生 ¹ , 伊藤響 ² , 福本有貴 ² , 矢島彩花 ² , Xi Chen ³ , 下里美由紀 ² , ハセツト絵美 ² , 畠山幸大 ² , 平栗優子 ² , 石塚祐伸 ¹ , 酒澤智子 ² , 湯本絵美 ¹ , 朝比奈雅志 ^{1,2,4} , 林謙吾 ⁵ , 石丸泰寛 ² , 高岡洋輔 ^{6,6} , 上田実 ^{5,7} , 岡田憲典 ⁸ , 山根久和 ^{1,2,4} , 宮本皓司 ^{1,2} (1帝京大・院理工, 2帝京大・理工・バイオ, 3ブレーメン大学, 4帝京大学先端機器分析センター, 5東北大・院理, 6JST-さきがけ, 7東北大・院生命科学, 8東大・生物工学セ)	1pG12 圃場オオムギのライフコース時系列ホルモンオーム+トランスクリプトーム解析による状態形質抽出 平山隆志 ¹ , 最相大輔 ¹ , 高萩航太郎 ^{2,3} , 松浦恭和 ¹ , 金谷麻加 ¹ , 井上小慎 ¹ , 山口由紀子 ² , 清水みなみ ² , 持田恵一 ^{1,2,3} (1岡大・植物研, 2理研・環境資源研, 3横浜市大・木原研)

I 会場	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時間
オルガネラ/細胞骨格	栄養成長	植物生物間相互作用 A	転写・翻訳・翻訳後制御	環境応答 B			
<p>1pI10 ヒメツリガネゴケにおいてHollidayジャンクシオン切断酵素MOC1は葉緑体とミトコンドリアDNAの安定性に寄与する 小林優介¹, 小田原真樹^{2,3}, 関根靖彦³, 宮城島進也¹ (1)遺伝研・細胞遺伝系, (2)理研, (3)立教大・生命理学)</p>	<p>1pJ10 ㊦ Heat-mediated <i>in vitro</i> Shoot Regeneration in <i>Arabidopsis</i> Tatsuya Takahashi^{1,2}, Alice Lamboloz¹, Ayako Kawamura¹, Takamasa Suzuki³, Bart Rymen¹, Akira Iwase¹, Katja Jager⁴, Philip A. Wigge⁴, Kengo Morohashi², Keiko Sugimoto¹ (1)Yokohama Inst., RIKEN, (2)Grad. Sch. Sci., Tokyo Univ. of Science, (3)Grad. Sch. Sci., Univ. Chubu, (4)Sainsbury Lab., Univ. Cambridge)</p>	<p>1pK10 ㊦ Cysteine-rich receptor-like kinase CRK2 directly regulates NADPH oxidase RBOHD in <i>Arabidopsis</i> Sachie Kimura¹, Kerri Hunter¹, Anne Rokka², Masatsugu Toyota^{3,4}, Hirofumi Nakagami², Michael Wrzaczek¹ (1)Organismal and Evolutionary Biology Research Programme, Univ. Helsinki, (2)Turku Centre for Biotechnology, Univ. Turku and Abo Akademi Univ., (3)Department of Biochemistry and Molecular Biology, Saitama Univ., (4)Department of Botany, Univ. Wisconsin-Madison, (5)Protein Mass Spectrometry Group, Max-Planck Institute for Plant Breeding Research)</p>	<p>1pL10 シロイヌナズナのホウ素輸送体<i>NIP5;1</i>における転写調節は, mRNA分解と協調した制御である 田中真幸¹, 反田直之¹, 内藤哲^{2,3}, 藤原徹¹ (1)東京大農, (2)北大生命, (3)北大農)</p>	<p>1pM10 ㊦ Comparative RNA-Seq analysis revealed osmotic stress tolerance mechanisms in the hyper-tolerant indica rice variety Sanjib Kumar Panda (Assam University, Silchar, India)</p>			16:15
<p>1pI11 柑楠株を用いたシロイヌナズナGLK1タンパク質複合体の探索 堀之内冬紅, 湯淺日菜子, 稲葉靖子, 稲葉丈人 (宮崎大・農)</p>	<p>1pJ11 ㊦ WIND1-mediated tracheary elements formation in <i>Arabidopsis</i> Akira Iwase¹, Yuki Kondo², Momoko Ikeuchi¹, Bart Rymen¹, Ayako Kawamura¹, Arika Takebayashi¹, Takamasa Suzuki³, Nobutaka Mitsuda⁴, Hiroo Fukuda², Keiko Sugimoto¹ (1)CSRS, RIKEN, (2)Dept. Biol. Sci., The Univ. Tokyo, (3)Dept. Biol. Chem. Biosci. Biotech., Chubu Univ., (4)Biopro. Res. Inst., AIST)</p>	<p>1pK11 イネRLCK-VIIタンパク質BSR1がもたらす広域病害抵抗性とオキシダティブバーストの関連 神田恭和^{1,2}, 西澤洋子¹, 鎌倉高志², 森昌樹^{1,2} (1)農研機構生物機能利用研究部門, (2)東理大院・理工)</p>	<p>1pL11 イネのJAZ2タンパク質の凝集性に関する研究 上嶋有羽, 袴田風沙, 加瀬田日向子, 服部東徳, 武田真 (名古屋大・生物機能センター)</p>	<p>1pM11 ㊦ Identification of an Arabidopsis protein family that regulates SnRK2 kinases in ABA signaling Yohhei Takahashi, Jingbo Zhang, Po-Kai Hsu, Paulo De Oliveira Ceciliato, Jiyoung Park, Felix Hauser, Julian I. Schroeder (University of California, San Diego)</p>			16:30
	<p>1pJ12 葉の形態形成に関わるイネ転写因子OsPIL7の機能解析 橋本貴将¹, 戸高大輔¹, 趙宇¹, 篠崎一雄², 篠崎和子¹ (1)東大院・農学生命科学, (2)理研・環境資源科学研究セ)</p>	<p>1pK12 ㊦ Comparative Genomics Reveals Genomic Plasticity Mediated by Transposable Elements in the Fungal Pathogen <i>Colletotrichum higginsianum</i> Ayako Tsushima^{1,2}, Pamela Gan², Naoyoshi Kumakura³, Mari Narusaka³, Yoshihata Takano⁴, Yoshihiro Narusaka³, Ken Shirasu^{1,2} (1)Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, (2)CSRS RIKEN, (3)RIBS Okayama, (4)Grad. Sch. Agric., Kyoto Univ.)</p>	<p>1pL12 ㊦ Boron Transporter (BOR1) is Involved in Nitrate-dependent Growth Promotion in <i>Arabidopsis thaliana</i> Qing Wang, Naoyuki Sotta, Toru Fujiwara (Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo)</p>	<p>1pM12 自動フェノタイプングシステム"RIPPS"を用いた作物初期生育におけるストレス応答解析 藤田美紀¹, 菊池沙安¹, 豊島真実², 藤田泰成^{2,3}, 篠崎一雄¹ (1)理研CSRS, (2)国際農研生物資源・利用, (3)筑波大生命環境)</p>			16:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第 2 日 3 月 14 日 (木) 午前 (9:00-12:00)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
		シンポジウム07 Find out the mechanism supporting C4 photosynthesis (9:00-11:45)	細胞壁	二次代謝	光合成	データベース講習会 (9:00-12:00)	植物ホルモン/シグナル伝達物質	生殖成長
9:00			2aC01 糖転移酵素の点変異はラムノガラクトuronan II の減少を通じてホウ素要求量を低下させる野崎佑斗, 船川寛矢, 相原いづみ, 三輪京子 (北大・院環境)	2aD01 <i>Eucalyptus camaldulensis</i> の没食子酸合成に関わる脱水素酵素遺伝子の単離 田原恒 ^{1,2} , 西口満 ¹ , 宮澤真一 ¹ , 深山貴文 ¹ , Juliane Mittasch ² , Carsten Milkowski ² (森林総合研究所, ² Martin Luther University Halle-Wittenberg)	2aE01 イネにおける Rubisco と Rubisco activase の多重増強が光合成に与える影響 菅波真央 ¹ , 鈴木雄二 ² , 田副雄士 ¹ , 牧野周 ¹ (東北大・院農, ² 岩手大・農)		2aG01 ABCG14によるサイトカイニン長距離輸送のメカニズム 神谷麻友 ¹ , 稲葉ジュン ² , 竹林裕美子 ² , 小嶋美紀子 ² , 木羽隆敏 ² , 榊原均 ¹ (名大・生命農, ² 理研・CSRS)	2aH01 苔類ゼニゴケにおける X 染色体上の性決定遺伝子の探索 岩崎美雪 ¹ , 山岡高平 ¹ , 梶原智明 ² , 宮崎基 ² , 末次憲之 ¹ , 吉竹良洋 ¹ , 西浜竜一 ¹ , 大和勝幸 ¹ , 河内孝之 ¹ (京都大学大学院生命科学研究所 遺伝子特性学分野, ² 京都大学農学部 応用生命科学科, ³ 近畿大学大学院生物理工学研究所)
9:15			2aC02 シロイヌナズナ KDO 生合成変異株の解析 清水寿朗, 中道雅貴, 氏家里奈子, 野口瑞木, 小林優, 森直樹, 間藤徹 (京大・院・農)	2aD02 L/ODC と ADC, DapDC の構造機能解析 佐藤玄 ^{1,2} , 岩崎わかかな ² , 栗原陽平 ² , 村上実月 ¹ , 白水美香子 ² , 内山真伸 ^{2,3} , 齊藤和季 ² , 山崎真巳 ¹ (千葉大院薬, ² 理研, ³ 東大院薬)	2aE02 Rubisco activase 過剰発現イネの光合成特性 今野壯 ¹ , 菅波真央 ¹ , 太田吉哉 ¹ , 高木大輔 ¹ , 田副雄士 ¹ , 鈴木雄二 ² , 牧野周 ¹ (東北大・院農, ² 岩手大・農)		2aG02 ジバレリンによる花成制御機構の解析 深澤豊太郎, 大橋由紀, 中居可奈子, 高橋竜平, 伊藤岳, 高橋陽介 (広島大・院理)	2aH02 MpBONOBO 転写複合体による苔類ゼニゴケの生殖器官形成の制御 齊藤美咲 ¹ , 山岡高平 ¹ , 吉竹良洋 ¹ , 光田展隆 ² , 西浜竜一 ¹ , 河内孝之 ¹ (京大・院・生命科学, ² 産総研・生物プロセス)
9:30			2aC03 ゼニゴケにおける Endoglucanase16 の機能解析 石田光重 ¹ , 黒羽剛 ¹ , 石崎公庸 ² , 檜垣匠 ² , 檜本悟史 ¹ , 横山隆亮 ¹ , 小竹敬久 ¹ , 西谷和彦 ¹ (東北大・院・生命科学, ² 神戸大・院・理, ³ 熊本大・IROAST, ⁴ 埼玉大・院・理工)	2aD03 ジャスモン酸及び塩によって誘導されるトマト JRE3 転写因子の標的遺伝子群の同定 庄司遼 ¹ , アブデルカリム アイマン ¹ , タクン コンブラク ¹ , 今西俊介 ² , 橋本隆 ¹ (奈良先端大・バイオ領域, ² 農研機構・野菜花き研究部)	2aE03 リン酸毒性は Rubisco の活性化比率と抗酸化活性の低下によってイネの生育を抑制する 高木大輔 ¹ , 田副雄士 ¹ , 菅波真央 ¹ , 上田晃弘 ¹ , 鈴木雄二 ² , 牧野周 ¹ (東北大・大学院・農学研究科, ² 広島大学・大学院・生物園科学研究所, ³ 岩手大学・農学部)		2aG03 ゼニゴケのエチレン応答とエチレン関連遺伝子の解析 本瀬宏康 ¹ , 片寄明日香 ¹ , 久保康隆 ² , 高橋卓 ¹ (岡山大・理・生物, ² 岡山大・農・応用植物科学)	2aH03 イネの花粉成熟・種子登熟におけるオートファジーの役割 栢津和幸 ^{1,2} , 瀬川ゆり ¹ , 花保繁 ^{2,3} , 澤田華平 ¹ , 福永任吾 ¹ , 小川和准 ¹ , 坂本真吾 ⁴ , 小野野二郎 ⁵ , 金古堅太郎 ³ , 三井悠大 ³ , 光田展隆 ⁴ , 野々村賢一 ⁵ , 三ツ井敏明 ³ , 来須孝光 ^{2,6} (東京理科大・理工・応用生物科学, ² 東京理科大・イメージングフロンティアセンター, ³ 新潟大・農, ⁴ 産総研, ⁵ 国立遺伝研, ⁶ 公立諏訪東京理科大)
9:45			2aC04 ⑤ Overlapping Shifts: Switching of Cellulose Synthase Machinery During Xylem Transdifferentiation Yoichiro Watanabe ^{1,2} , Rene Schneider ³ , Sarah Barkwill ² , Lacey Samuels ³ , Staffan Persson ³ , Shawn Mansfield ² (Nara Institute of Science and Technology, ² University of British Columbia, ³ University of Melbourne)	2aD04 パラゴムノキの天然ゴム生合成マシナリを構成する因子の相互作用と機能相関 小島幸治 ¹ , 山口真琴 ¹ , 石井智樹 ¹ , 廣森美樹 ¹ , 和氣駿之 ¹ , 山下哲 ¹ , 戸澤謙 ¹ , 山口春彦 ¹ , 井之上ゆき乃 ¹ , 伏原和久 ¹ , 中山亨 ¹ , 高橋征司 ¹ (東北大・院・工, ² 金沢大・院・自然科学, ³ 埼玉大・院・理工, ⁴ 住友ゴム工業(株))	2aE04 遺伝子組換え作物隔離ほ場における Rubisco 過剰生産イネの3年間の収量試験評価 尹棟賢 ¹ , 渡邊まり ¹ , 菅波真央 ¹ , 伊丸岡芹菜 ¹ , 小倉真紀 ¹ , 石山敬貴 ^{1,2} , 田副雄士 ¹ , 石田宏幸 ¹ , 鈴木雄二 ² , 前忠彦 ² , 牧野周 ¹ (東北大・院農, ² 岩手大・農)		2aG04 CRISPR/Cas9により作出したイチゴ <i>Fragaria vesca</i> のストロゴラクトン受容体 D14 ノックアウト体の機能解析 宮地朋子 ¹ , 田上翔也 ¹ , 坂口航平 ¹ , 島田佳南里 ¹ , 藤井秀輝 ¹ , 篠原啓子 ² , 原田陽子 ² , 刑部敬史 ¹ , 刑部祐里子 ^{1,3} (徳島大・生物資源産業, ² 徳島農総技セ, ³ 理研, BZP)	2aH04 GDSL ファミリーエステラーゼはシロイヌナズナの花粉壁の構造を制御する 津釜大佑 ^{1,2} , 藤野介延 ¹ (北大・院農, ² 東大アジアセンター)
10:00			2aC05 シロイヌナズナの花茎における二次細胞壁分布の空間パターン定量評価 中田未友希 ¹ , 坂本真吾 ¹ , 高原正裕 ² , 光田展隆 ¹ (産総研・生物プロセス, ² アカシア園芸)	2aD05 ニチニチソウ乳管細胞・異形細胞の発生, 分化, 代謝変動の解析 鶴崎真如 ¹ , 山本浩太郎 ² , 高橋勝利 ¹ , 大西美輪 ¹ , 栗田悠子 ² , 七條千津子 ¹ , 永野博 ² , 石崎公庸 ¹ , 深城英弘 ¹ , 三村徹郎 ¹ (神戸大院・理・生物, ² Dept. Biol. Chem., John Innes Centre, ³ 産総研・計測フロンティア部門, ⁴ 神戸大・先端バイオ工学研究センター, ⁵ 龍谷大・農)	2aE05 海洋性珪藻ピレノイドにおける CCM と光化学系機能連携の解明 天野凌輔, 辻敬歌, 松田祐介 (関西学院大学大学院理工学研究科 生命科学専攻)		2aG05 HTL/KAI2の新規アゴニスト化合物の開発 福井康祐 ¹ , 浅見忠男 ² , 林謙一郎 ¹ (岡山理大・理・生化学, ² 東大院・農生科・応生化学)	2aH05 ゼニゴケの生殖時期におけるサイクリック AMP の機能解析 山本千愛 ¹ , 高橋文雄 ¹ , 末次憲之 ² , 河内孝之 ² , 笠原賢洋 ¹ (立命館大・院生命, ² 京大・院生命)
10:15			2aC06 R3 MYB 遺伝子の過剰発現によるポプラ木質の酵素糖化性の改良 高田直樹 ¹ , 堀千明 ² , 松本謙一郎 ² , ラム インプイ ³ , 飛松裕基 ³ , 永野聡一郎 ⁴ (森林総研・森林バイオ, ² 北大・院工学, ³ 京大・生存研, ⁴ 森林総研・林木育セ)	2aD06 モデルベンインドールアルカロイドとその局在を同定するマルチメタボロミクス 中林亮 ¹ , 森哲哉 ¹ , 橋本恵 ¹ , 豊岡公徳 ¹ , 山田豊 ¹ , 津川裕司 ¹ , 齊藤和季 ² (理研 CSRS, ² 千葉大院薬)	2aE06 <i>A. thaliana</i> Trx y2 と Prx Q の特異的相互作用の解明 手島圭三, 相川順季, 前濱裕也, 中川直樹 (広大院生物園)		2aG06 転写因子 D53 はゼニゴケ杯状体形成に無性芽数の決定に関わる 小松愛乃 ¹ , 水野陽平 ¹ , 児玉恭一 ² , 島崎翔太 ¹ , 檜本悟史 ¹ , 石崎公庸 ² , 経塚淳子 ¹ (東北大・院・生命科学, ² 東北大・理, ³ 神戸大院・理)	2aH06 花粉への一過性遺伝子導入系による花粉管および精細胞の動態解析 永原史織 ¹ , 栗原大輔 ^{1,2} , 東山哲也 ^{1,3} , 水多陽子 ^{1,2} (名大・ITbM, ² JST・さきかけ, ³ 名大・院・理)

I 会場	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時間
オルガネラ/細胞骨格	栄養成長	植物生物間相互作用 A		環境応答 B		その他 (新技術開発・バイオリソース)	
<p>2aI01 ANGUSTIFOLIAはアクチン繊維の配向調節を介してシロイヌナズナの葉の求心性核定位を制御する 岩瀬功誠¹, 大西春菜², 田村謙太郎³, 深尾陽一朗⁴, 古谷明之⁵, 服部孝郎⁶, 塚谷裕一^{5,6}, 西村いくこ¹ (1甲南大・理工, 2京都大・院理, 3静岡国立大・食品栄養科学, 4立命館大・生命科学, 5東京大・院理, 6ExCELLS・自然科学研究機構)</p> <p>2aI02 花の開閉運動におけるアクチン繊維の機能 大喜多彩香, 石黒澄衛 (名古屋大・生命科学)</p> <p>2aI03 原形質流動はどのようにして植物の成長を制御するのか 富永基樹^{1,2,3}, 高塚大知⁴, 段中瑞⁵, 川羽田俊⁶, 田中美聡⁷, 原口武士⁸, 金澤建彦⁹, 伊藤光二⁵, 上田貴志⁶, 梅田正明¹ (1早稲田大・教育総合科学, 2早稲田大・院・先進理工, 3JST・先端低炭素, 4奈良先端大・先端科学, 5千葉大・院・生物, 6基生研・細胞動態)</p> <p>2aI04 新規-ROPアクチン経路による二次細胞壁沈着の制御 杉山友彦¹, 長島慶宜¹, 若崎真由美², 佐藤満子³, 福田裕穂⁴, 小田祥久^{2,4} (1東大・院理・生物科学, 2遺伝研・新分野, 3理研・CSRS, 4総研大・遺伝学)</p> <p>2aI05 ゼニゴケ精子変態過程におけるオルガネラ動態の可視化と観察 南野尚紀¹, 法月拓也^{1,2}, 海老根一生^{1,3}, 上田貴志^{1,3} (1基生研, 2東大・院理, 3総研大)</p> <p>2aI06 新規核タンパク質SANP1は根の寒天培地への貫入に関与する 後藤千恵子^{1,2,3}, 田村謙太郎^{1,4}, 西村いくこ⁵, シャブテマリエディット² (1京都大・院理, 2IBMP, CNRS, unistra Strasbourg France, 3東京大・院農学生命, 4静岡国立大・食品栄養科学, 5甲南大・理工)</p>	<p>2aJ01 イネの腋芽幹細胞の確立と維持機構 田中若奈, 平野博之 (東大・院理)</p> <p>2aJ02 イネ KNOX 転写因子 OSH1 の細胞内局在制御 津田勝利^{1,2}, 野々村賢一^{1,2} (1国立遺伝学研究所 実験圃場, 2総合研究大学院大学)</p> <p>2aJ03 サイトカニン情報伝達による肥厚成長に関与する LBD/ASL ファミリー転写因子の機能解析 今村美友¹, 島田由里菜¹, 伊藤正樹¹, 光田展隆², 近藤侑貴³, 高木優^{2,4}, 山篠貴史¹ (1名大院・生命科学, 2産総研・生物プロセス, 3東大院・理, 4埼玉大院・理工)</p> <p>2aJ04 シロイヌナズナ <i>angustifolia3</i> 変異体の補償作用において細胞サイズを増加させる仕組み 江崎和音¹, 塚谷裕一^{1,2} (1東京大・院理, 2生命創成探求センター・NINS)</p> <p>2aJ05 (E) Regulation of margin cell division in <i>Arabidopsis cotyledon</i> Lian Xu¹, Yuli Jian², Shingo Nagawa¹ (1FAFU-UCR Joint Center and Fujian Provincial Key Laboratory of Haixia Applied Plant Systems Biology, Haixia Institute of Science and Technology, Fujian Agriculture and Forestry University, 2Shanghai Center for Plant Stress Biology, CAS)</p> <p>2aJ06 シロイヌナズナ胚軸の二次成長における形成層幹細胞の幹細胞活性 石東博¹, Vadir Lopez¹, Ivan Lebovka¹, Pablo Sanchez², Virginie Jouannet³, Thomas Greb¹ (1ドイツ・COS ハイデルベルク大学, 2発生理学グループ, 3オーストリア・グレゴール・メンデル研究所)</p>	<p>2aK01 トマト苗育苗中660nm光照射によって誘導されるミカンキイロアザミウマ忌避反応 大矢武志¹, 金満伸央², 櫻井民人³, 安部洋⁴ (1神奈川農技センター, 2共立電照, 3農研機構 中央農研, 4理研バイオリソースセンター)</p> <p>2aK02 トマト斑葉細菌病菌に対するシロイヌナズナの耐病性の簡便な定量的評価法の開発と新規植物免疫活性化候補化合物の評価 中野正貴¹, 北畑信隆^{1,2}, 石賀貴子³, 石賀康博³, 朽津和幸³ (1東京理科大学 理工学部 応用生物科学科, 2東京理科大学・イメージングフロンティアセンター, 3筑波大・生命環境・生物圏資源科学)</p> <p>2aK03 (E) Update on mechanisms of NERICA rice direct defense against insect herbivores Joackin B. Andama^{1,2}, Tomonori Shinya¹, Ivan Galis¹ (1IPSR, Okayama Univ., 2Abi Zonal Agric. Res. Dev. Inst., (NARO, Uganda))</p> <p>2aK04 ER bodyは昆虫の摂食行動を抑制するにのほの生産に関与する 水穂そま¹, 前田徹², 高木純平³, 國枝正¹, 山田健志¹, 尾崎まみこ², 西村いくこ^{1,3} (1甲南大・院理, 2甲南大・理工, 3奈良先端大・バイオ・ヤギエウオ大・マルボルスカ研)</p> <p>2aK05 植物病原性細菌 <i>Acidovorax avenae</i> 由来のエフェクタータンパク質IPPTを介した過敏細胞死誘導の分子機構 中村みなみ¹, 近藤真千子², 古川岳人², 川口雄正¹, 山田孝樹¹, 梶見樹^{1,2} (1長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科, 2長浜バイオ大学バイオサイエンス学部)</p> <p>2aK06 シロイヌナズナにおいて <i>Hyaloperonospora arabidopsidis</i> 感染により誘導される WRKY 転写産物量の長期保持とプライミング状態の関係性 Kanoknipa Sukaoun¹, 土屋徳司² (1日本大・院応用生命, 2日本大・生物資源)</p>		<p>2aM01 シバ葉身の向背軸面における塩腺の微細構造と排出機能の比較 小山真史, 谷口光隆, 大井崇生 (名古屋大 院生命科学)</p> <p>2aM02 キヌア幼苗組織における Na⁺ 集積機構の品種間差 小林安文¹, 豊島真実¹, 安井康夫², 藤田泰成^{1,3} (1国際農研, 2生物資源利用, 3京都大・生命環境, 4筑波大・生命環境)</p> <p>2aM03 浸透圧ストレス時にシロイヌナズナのタンパク質リン酸化酵素 SnRK2 の活性を制御する上流因子の同定 福井あずさ¹, 相馬史幸¹, 最上惇郎¹, 佐藤花輪¹, 佐藤裕太¹, 高橋史憲², 篠崎一雄², 篠崎和子¹ (1東大院・農学生命科学, 2理研・環境資源科学研究セ)</p> <p>2aM04 ゼニゴケの表層脂質合成系の解析 高橋佐弥¹, 堀孝一¹, 石崎公庸², 下嶋美恵¹, 太田啓之¹ (1東京工業大学 生命理工学院 太田下嶋研究室, 2神戸大学 大学院理学研究科 生物学専攻 石崎研究室)</p> <p>2aM05 相反する環境ストレス応答を制御するクラスIとクラスII RPD3-like ヒストン脱アセチル化酵素群の機能解析 上田実^{1,2}, 伊藤昭博^{3,4}, 松井章浩^{1,5}, 鈴木健裕⁶, 田中真帆^{1,5}, 石田順子^{1,5}, 堂前直⁷, 吉田稔^{1,7}, 関原明^{1,2,5,8} (1理研・植物ゲノム発現研究チーム, 2CREST・JST, 3理研・ケミカルゲノミクス研究グループ, 4東葉大・生命, 5理研・植物エビゲノム制御研究室, 6理研・生命分子解析ユニット, 7東大・院農学生命, 8横浜市大・木原生研)</p> <p>2aM06 塩ストレス条件下における葉の成長制御メカニズム解析 藤井美穂¹, 池田美穂¹, 光田展隆², 高木優¹ (1埼玉大院・理工, 2産総研 生物プロセス)</p>	<p>2aO01 標的変異導入によるイネグルタミン酸脱炭酸酵素 (GAD) の制御領域の機能解析 赤間一仁^{1,2}, 岡本直樹², 尾崎ほか¹, 金崎雅子¹ (1鳥根大学生物資源科学部, 2鳥根大学大学院自然科学研究科)</p> <p>2aO02 シロイヌナズナにおける CRISPR/Cas9 system の応用した遺伝子ターゲットング 三木大介, Wenxin Zhang, Peng Fangnan, Wenjie Zeng, Zhu Jian-Kang (中国科学院 上海植物逆境生物学中心)</p> <p>2aO03 CRISPR/Cas9による栽培品種トマとの育種技術基盤の構築 阿部千尋, 上田梨紗, 橋本諒典, 刑部祐里子, 刑部敬史 (徳島大・生物資源産産)</p> <p>2aO04 CRISPR/dCas9を利用した植物遺伝子発現制御システムの開発 上田梨紗, 宮地朋子, 和田直樹, 刑部祐里子, 刑部敬史 (徳島大学 刑部研究室)</p> <p>2aO05 FnCpf1を用いたゲノム編集効率の向上のための crRNA の改変 三上雅史^{1,2}, 遠藤真咲², 土岐精一^{1,2,3} (1横浜市大・院生命ナノ, 2農研機構・生物機能利用研究部門, 3横浜市大・木原生研)</p> <p>2aO06 イネ alternative non-homologous end joining (altNHEJ) 経路関連因子の欠損がアグロバクテリウムを介した形質転換効率に及ぼす影響の解析 横井彩子^{1,2}, 雑賀啓明¹, Lan-Ying Lee³, Stanton B. Gelvin¹, 土岐精一^{1,4} (1農研機構 先進作物ゲノム改変ユニット, 2JST・さきがけ, 3バドュー大学, 4横浜市大・木原生研)</p>	<p>9:00</p> <p>9:15</p> <p>9:30</p> <p>9:45</p> <p>10:00</p> <p>10:15</p>	

(E) = 発表の言語は英語

● 第2日 3月14日(木) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
10:30		シンポジウム07 Find out the mechanism supporting C4 photosynthesis (9:00-11:45)	細胞壁	二次代謝	光合成	データベース講習会 (9:00-12:00)	植物ホルモン/シグナル伝達物質	生殖成長
10:45			2aC07 アラビノガラクトタンプロテイン糖鎖による細胞壁制御機構の解析 大川諒也, 大西真理, 松林嘉克 (名大・院理生命理学)	2aD07 乾燥ストレス処理したダイズコアコレクシンのメタボロミックスゲノムワイド関連解析 内田剛 ¹ , 澤田有司 ¹ , 鐘ヶ江弘美 ² , 岡本真美 ³ , 佐藤心郎 ¹ , 山田豊 ¹ , 津田麻衣 ² , 戸田悠介 ³ , 山崎祐司 ⁴ , 辻本壽 ⁴ , 加賀秋人 ⁵ , 中國幹生 ⁶ , 岩田洋佳 ³ , 藤原徹 ² , 平井優美 ¹ (理研 CSRS, ² 筑波大・生命環境, ³ 東京大・院農学生命科学, ⁴ 鳥取大・乾燥地研究センター, ⁵ 農研機構・次世代作物開発研究センター, ⁶ 名古屋大・院生命農学)	2aE07 <i>m</i> 型チオレドキシンは光化学系Iサイクリック電子伝達を負に制御する 桶川友季, 本橋健 (京都産業大学・総合生命)		2aG07 イネbZIP型転写因子によるブラシノステロイド関連遺伝子発現制御の解析 吉田英樹 ^{1,2} , 島谷善平 ^{3,4} , 鈴木寿法 ² , 寺田理枝 ² , 上口(田中)美弥子 ² , 松岡信 ² , 辻寛之 ¹ (横浜市大・木原生研, ² 名大・生物機能研究センター, ³ 名城大・農, ⁴ 神戸大院・科技イノベ)	2aH07 シロイヌナズナの有性生殖のために雌雄細胞を活性化する鍵分子 時田公美 ¹ , 上田彩果 ¹ , 北野浩之 ² , 伊藤英人 ^{1,2,3} , 佐藤綾人 ² , 鈴木孝征 ¹ , 中野雄司 ³ , 伊丹健一郎 ^{1,2,3} , 東山哲也 ^{1,2} (名大・院理, ² 名大・WPI-ITbM, ³ JST-ERATO, ⁴ 中部大・応用生物, ⁵ 理研・CSRS)
11:00			2aC08 シロイヌナズナにおける根冠ムシレージの蓄積と放出機構の解析 前田和輝 ¹ , 國枝正 ² , 田村謙太郎 ³ , 崎野恭子 ⁴ , 西村いくこ ⁵ , 嶋田知生 ¹ (京都大学大学院理学研究科, ² 奈良先端大・バイオ, ³ 静岡県立大・食品栄養科学, ⁴ 京都大学大学院人間・環境学研究所, ⁵ 甲南大・理工)	2aD08 ㊦ Physico-chemical and cooking characteristics of rice varieties Mahbuba Khatoun ¹ , Dr. Md. Tariqul Islam ² (CROP PHYSIOLOGY DIVISION, BINA, MYMENSINGH, BANGLADESH, ² CROP PHYSIOLOGY DIVISION, BINA, MYMENSINGH, BANGLADESH)	2aE08 PSIサイクリック電子伝達系を担うNDH複合体の巨大化: アセンブリ因子の遺伝子重複による新規サブユニットの獲得 加藤義宣 ¹ , 小田原真樹 ² , 鹿内利治 ¹ (京都大・院理, ² 理研)		2aG08 ブラシノステロイド (BR) の応答を負に制御する新規転写因子BHB1 (BRASSINOSTEROID-RELATED-HOMEOBOX-1) の解析 長谷川玲花 ¹ , 藤田健司郎 ^{2,3} , 田中雄一郎 ^{2,3} , 高崎寛則 ¹ , 池田美穂 ¹ , 山上あゆみ ² , 光田展隆 ⁴ , 中野雄司 ² , 高木優 ¹ (埼玉大・院・理工, ² 理研 CSRS, ³ 明治大・院・農芸化学, ⁴ 産業技術総合研究所 生物プロセス)	2aH08 ㊦ Establishment of an in vitro fertilization system in wheat (Triticum aestivum L.) Tety Maryenti ¹ , Norio Kato ^{1,2,3} , Masako Ichikawa ³ , Takashi Okamoto ^{1,2} (Tokyo Metropolitan University, Dept of Biol Sci, ² RIKEN Cluster for Science, Plant Breeding Innovation Laboratory, ³ Japan Tobacco Inc., Plant Innovation Center)
11:15			2aC09 タバコ属の異科接木における特徴的な遺伝子発現の同定 野田口理孝 ^{1,2,3} , 田畑亮 ¹ , 岡安浩次 ¹ , 澤井優 ¹ , 鈴木孝征 ⁴ , 黒谷賢一 ¹ (名大・院・農, ² 名大・ITbM, ³ JST さきがけ, ⁴ 中部大・院・応用生物)	2aD09 硫黄欠乏条件におけるグルコシノレート分解の分子機構 杉山龍介, 桑原亜由子, 平井優美 (理研 CSRS)	2aE09 コムギの葉における低温でのチラコイド膜光化学系IのFd非依存性循環的電子伝達の強化 居原太陽, 三宅親弘 (神戸大・院農学)		2aG09 イネの葉身屈曲におけるストリゴラクトンとブラシノステロイドの相互作用 進藤真登, 下村謙一郎, 梅原三貴久 (東洋大・院・生命科学)	2aH09 極核融合因子シロイヌナズナGex1タンパク質のシステインリッチドメインの構造と機能の解析 西川周 ¹ , 鈴木千晴 ² , 河野慎 ³ , 渡邊信久 ⁴ , 遠藤斗志也 ³ (新潟大学・理, ² 新潟大・院自然, ³ 京産大・総合生命, ⁴ 名大・シンクロトロン光セ)
11:30			2aC10 陸上植物に共通するガス交換組織形成機構の理解 水谷未耶 ¹ , 林優紀 ¹ , 石崎公庸 ² , 西浜竜一 ³ , 木下俊則 ^{1,4} , 河内孝之 ² , 東山哲也 ^{1,4} , 金岡雅浩 ¹ (名古屋大・院・理, ² 神戸大・院・理, ³ 京大・院・生命, ⁴ 名古屋大・ITbM)	2aD10 暗処理が引き起こすグルコシノレート量減少の分子機構 一瀬智美 ¹ , 山崎雄三 ² , 三浦大典 ³ , 金善州 ⁴ , 丸山明子 ¹ (九州大・院農, ² 鳥津製作所, ³ 産総研, ⁴ 忠南大学)	2aE10 フェレドキシンに依存しない光化学系I循環的電子伝達反応の発見と生理的役割の解明 門田かなえ ^{2,5} , 古谷吏植 ¹ , 牧野周 ^{3,5} , 鈴木雄二 ^{4,5} , 和田慎也 ^{4,5} , 三宅親弘 ^{2,5} (神戸大学農学部, ² 神戸大・院農学研究科, ³ 東北大・院農学研究科, ⁴ 岩手大学農学部, ⁵ クレスト)		2aG09 イネの葉身屈曲におけるストリゴラクトンとブラシノステロイドの相互作用 進藤真登, 下村謙一郎, 梅原三貴久 (東洋大・院・生命科学)	2aH10 トランスクリプトーム解析による受精卵極性の制御因子の探索 木倉祐登 ¹ , 鈴木孝征 ² , 水谷美耶 ^{1,3} , 山田朋美 ^{3,5} , 金岡雅浩 ^{1,5} , 東山哲也 ^{1,3} , 植田美那子 ^{1,3} (名古屋大・院・理, ² 中部大・院・応用生物, ³ 名古屋大・ITbM)
11:30		2aC11 シロイヌナズナ切断花茎における組織癒合および維管束分化関連遺伝子の組織特異的発現 大場裕介 ¹ , 吉原さくら ¹ , 青原勉 ¹ , 松岡啓太 ² , 朝比奈雅志 ³ , 近藤侑貴 ³ , 佐藤忍 ¹ (筑波大・院生命環境, ² 帝京大・バイオサイエンス, ³ 東京大・院理学系)	2aD11 ニンニクのシステインルホキシド化合物の生合成におけるフィトケラチン合成酵素の機能の解析 大岩優海菜 ¹ , 浅野雅代 ¹ , 鈴木秀幸 ² , 小寺幸広 ³ , 恒吉唯光 ³ , 齊藤和季 ¹ , 吉本尚子 ¹ (千葉大院・薬, ² かずさDNA研究所・ゲノム事業推進部, ³ 湧永製薬)	2aE11 ㊦ A photosystem I assembly factor, CGL71, is involved in a PSI RC assembly in the green alga <i>Chlamydomonas reinhardtii</i> Sreedhar Nellaepalli ^{1,2} , Yuichiro Takahashi ^{1,2} (Research Institute for Interdisciplinary Science, Okayama University, ² JST-CREST)	2aG09 イネの葉身屈曲におけるストリゴラクトンとブラシノステロイドの相互作用 進藤真登, 下村謙一郎, 梅原三貴久 (東洋大・院・生命科学)	2aH11 シロイヌナズナにおけるENDOSPRM3の機能解析 高崎寛則 ¹ , 池田美穂 ¹ , Yilin Zhang ¹ , 丸山大輔 ² , 光田展隆 ³ , 木下哲 ² , 高木優 ¹ (埼玉大・院理工, ² 横浜市・木原生研, ³ 産総研・生物プロセス)		

I会場	J会場	K会場	L会場	M会場	N会場	O会場	時間
オルガネラ/細胞骨格	栄養成長	植物生物間相互作用 A		環境応答 B		その他 (新技術開発・バイオリソース)	
2aI07 クラミドモナス鞭毛運動を利用した細胞内ATP濃度測定法の開発 高野和歌子 ¹ , 久堀徹 ² , 若林憲一 ³ (¹ 東工大生命理工, ² 東工大化生研)	2aJ07 ㊦ Investigation of the expression pattern of AtRecQ gene family during vegetative and reproductive development in <i>Arabidopsis thaliana</i> Amit Kumar Dutta ^{1,2} , Mst Momtaz Sultana ^{1,2} , Takushi Hachiya ¹ , Tsuyoshi Nakagawa ¹ (¹ Dept. Mol. Func. Genomics, Int. Center Sci. Res., Shimane Univ., ² The United Graduate School of Agricultural Sciences (UGSAS), Tottori Univ.)	2aK07 AtLBR-2依存的に発現上昇する65のLPS誘導性遺伝子について 飯笹さやか ^{1,2} , 飯笹英一 ³ , 渡邊啓一 ² , 永野幸生 ² (¹ 鹿児島大・大教センター, ² 佐賀大・院農, ³ 鹿児島大・院医歯学・免疫)		2aM07 生理生態学研究のための植物の蒸散・吸水過程のシンプルモデル 桑形恒男, 伊川浩樹 (農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域)		2aO07 CRISPR/Cas9による, 緑藻 <i>Coccomyxa</i> sp. KJ株の高効率な逆遺伝学的ゲノム編集技術 榎塚明 ¹ , 吉満勇也 ¹ , 原山重明 ² (¹ 株)デンソー 先端技術研究所, ² 中央大学)	10:30
2aI08 GFPやTagRFPによるオイルボディ, 液胞の形態と植物生長への人為的影響 瀬上紹嗣 ¹ , 木下悟 ¹ , 島田貴士 ² , 嶋田知生 ³ , 西村いくこ ⁴ , 前島正義 ¹ (¹ 名古屋大・院生命農学, ² 千葉大・院園芸, ³ 京都大・院理, ⁴ 甲南大・理工)	2aJ08 ㊦ Spatial regulation involved in bi-directional differentiation of vascular cells in <i>Arabidopsis</i> Alif Meem Nurani ¹ , Yuki Kondo ¹ , Yuki Sakamoto ² , Kazuo Ebine ^{3,4} , Sachihito Matsunaga ² , Takashi Ueda ^{3,4} , Hiroo Fukuda ¹ (¹ Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, ² IFC, RIST, Tokyo Univ. Sci., ³ Div. Cellular Dynamics, NIBB, ⁴ Sch. Life Sci., SOKENDAI, ⁵ Sci. Tech., Tokyo Univ. Sci.)	2aK08 ㊦ PUB4, a novel CERK1 interactor, positively regulate chitin-induced immune signaling Yoshitake Desaki ^{1,2} , Shohei Takahashi ¹ , Saki Matsui ¹ , Ikuya Yoshimi ¹ , Masaki Kohari ¹ , Emi Yumoto ³ , Koji Miyamoto ⁴ , Naoto Shibuya ¹ , Hanae Kaku ¹ (¹ Dept. Life Sciences, Sch. Agriculture, Meiji University, ² Dept. Biological Science and Technology, Fac. Industrial Science and Technology, Tokyo University of Science, ³ Advanced Instrumental Analysis Center of Teikyo University, ⁴ Dept. Biosciences, Fac. Science and engineering, Teikyo University)		2aM08 ヒエの外皮のスぺリンは恒常的なRadial oxygen lossバリアとして機能する 江尻真斗, 塩野宏宏 (福井県立大・院生物資源学)		2aO08 変異解析とゲノム編集による緑藻 <i>Coccomyxa</i> の油脂生産性の改良 井出隼子 ¹ , 早川准平 ² , 吉満勇也 ¹ , 小松さと子 ¹ , 田切修在 ² , 深堀ひより ² , 今村壮輔 ^{2,3} , 原山重明 ² (¹ 株式会社デンソー, ² 中央大・理工生命科学, ³ 東工大)	10:45
2aI09 形質転換タバコ培養細胞におけるシロイヌナズナ中間径フィラメントモチーフタンパク質の細胞周期依存的な局在変化とホモログの発現 山下暉 ² , 宇都宮輝 ¹ , 金田剛史 ¹ (¹ 愛媛大・院理工学, ² 愛媛大・理)	2aJ09 VISUAL-シングルセル解析による維管束幹細胞アイデンティティの研究 山田舜治, 福田裕穂, 近藤佑貴 (東京大・理)	2aK09 ㊦ Interference of <i>Arabidopsis thaliana</i> growth and immune system by Rhizobiales commensal bacteria Ryohei Thomas Nakano ^{1,2} , Ruben Garrido-Oter ^{1,2} , Pawel Bednarek ³ , Paul Schulze-Lefert ^{1,2} (¹ Max Planck Institute for Plant Breeding Research (MIPBZ), ² Cluster of Excellence on Plant Sciences (CEPLAS), ³ Polish Academy of Sciences)		2aM09 ㊦ Photosynthesis and Yield Performance of Sesame Genotypes under Different Water Logging Period Dr. Md. Tariqul Islam ¹ , Mahbuba Khatoon ² (¹ CROP PHYSIOLOGY DIVISION, BINA, MYMENSINGH, BANGLADESH, ² CROP PHYSIOLOGY DIVISION, BINA, MYMENSINGH, BANGLADESH)		2aO09 ㊦ Establishment of Agrobacterium-mediated transient transformation in <i>Marchantia polymorpha</i> Hidekazu Iwakawa, Hirofumi Nakagami (Max Planck Institute for Plant Breeding Research)	11:00
2aI10 NEK6が微小管の張力応答を緩和して器官をまっすぐ成長させる仕組み 高谷彩吾 ¹ , Stéphane Verger ¹ , 岡本崇 ² , 高橋卓 ² , Olivier Hamant ¹ , 本瀬宏康 ² (¹ Plant Development and Reproduction Laboratory, ENS de Lyon, ² 岡山大・院・自然科学)	2aJ10 新規節節細胞誘導系を用いた細胞運命決定機構の解析 王置貴之 ¹ , 大矢恵代 ¹ , 内藤万紀子 ¹ , 小澤靖子 ¹ , 佐藤満子 ² , 若崎真由美 ² , 豊岡公徳 ² , 福田裕穂 ¹ , 近藤佑貴 ¹ (¹ 東大・院・理, ² 理研 CSRS)	2aK10 ㊦ The suppression of immune responses in nematode-resistant plant <i>Solanum torvum</i> by root-knot nematode, <i>Meloidogyne arenaria</i> Kazuki Sato ¹ , Yasuhiro Kadota ¹ , Pamela Gan ¹ , Taketo Uehara ² , Takahiro Bino ³ , Katsushi Yamaguchi ³ , Yasunori Ichihashi ^{1,5} , Hideaki Iwahori ⁶ , Noriko Maki ¹ , Shuji Shigenobu ³ , Takamasu Suzuki ¹ , Ken Shirasu ^{1,8} (¹ RIKEN CSRS, ² National Agriculture and Food Research Organization, ³ National Institute for Basic Biology, ⁴ RIKEN BRC, ⁵ JST PRESTO, ⁶ Ryukoku Univ., ⁷ Chubu Univ., ⁸ Univ. Tokyo)		2aM10 シロイヌナズナ塩馴化後浸透圧耐性獲得変異株を用いた浸透圧耐性機構の解明 田村将士, 國武悟, 四井いずみ, 坂田洋一, 太治輝昭 (東京農業大学, バイオサイエンス専攻)		2aO10 植物におけるタンパク質大量発現「つくばシステム」 三浦謙治, 星川健, 山本剛史, 高岡美子, 江面浩 (筑波大学生命環境系/つくば機能植物イノベーション研究センター)	11:15
2aI11 微小管付随タンパク質CORDは細胞分裂におけるフラグモプラストの形成に必要なものである 佐々木武馬 ¹ , 村田隆 ^{2,3} , 大友康平 ⁴ , 堤元佐 ¹ , 根本知己 ¹ , 長谷部光泰 ^{2,3} , 小田祥久 ^{1,5} (¹ 国立遺伝学研究所・新分野創造センター, ² 基礎生物学研究所・生物進化研究部門, ³ 総合研究大学院大学・基礎生物学専攻, ⁴ 北海道大学・ニコメーシングセンター, ⁵ 総合研究大学院大学・遺伝学専攻)	2aJ11 維管束初期形成におけるオーキシン合成の役割 伊藤(大橋)恭子 ¹ , 岩本訓知 ¹ , 小嶋美紀子 ² , 榎原均 ^{2,3} , 福田裕穂 ¹ (¹ 東京大・院・理, ² 理研・環境資源, ³ 名古屋大・院・生命農学)	2aK11 ㊦ Expression dynamics of subtilases in the haustorium of the parasitic plant <i>Phtheirospermum japonicum</i> Satoshi Ogawa ¹ , Takanori Wakatake ² , Juliane K. Ishida ^{1,2} , Satoko Yoshida ^{1,3} , Yasunori Ichihashi ^{1,4} , Ken Shirasu ^{1,2} (¹ RIKEN CSRS, ² Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo, ³ Grad. Sch. of Bio. Sci., NAIST, ⁴ JST, PRESTO)		2aM11 シロイヌナズナ accession を用いた塩耐性の多様性解析 伊藤佐, 四井いずみ, 坂田洋一, 太治輝昭 (東京農業大学)		2aO11 発光植物のメタボローム解析手法の確立 澤田有司, 内田開, 平井優美 (理研 環境資源科学研究センター)	11:30

㊦ = 発表の言語は英語

● 第 2 日 3 月 14 日 (木) 午前 (9:00-12:00)

時 間	A 会場	B 会場	C会場	D会場	E会場	F 会場	G会場	H会場
11:45		シンポジウム07 Find out the mechanism supporting C4 photosynthesis (9:00-11:45)	細胞壁	二次代謝	光合成	データベース講習会 (9:00-12:00)		生殖成長
			<p>2aC12 シロイヌナズナにおける低Ca耐性へのGSLファミリー遺伝子の寄与の解析 鹿内勇佑¹, 浅田真由¹, 黒木俊作², 山上睦³, 重信秀治⁴, 山口勝司⁴, 神谷岳洋¹, 藤原徹⁴ (¹東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 植物栄養・肥科学研究室, ²東京大学農学部, ³環境科学技術研究所, ⁴基礎生物学研究所)</p>	<p>2aD12 ムラサキにおいてシコニン生産特異的に発現するLeDI-2の機能解析 市野琢爾¹, 巽奏¹, 津山濯², 矢崎一史¹ (¹京大・生存研, ²宮崎大・農)</p>	<p>2aE12 ㊦ Pet9, a rhodanese-like domain protein, involved in the biogenesis of the cytochrome <i>b₆f</i> complex in maize Yukari Asakura¹, Rosalind Williams-Carrier², Alice Barkan², Masato Nakai¹ (¹Inst. Protein Res., Osaka Univ., ²Inst. Mol. Biol., Univ. Oregon, USA)</p>		<p>2aH12 PtdIns(4,5)P₂産生酵素をコードするPIP5K遺伝子は花粉の発達過程において機能する 加藤真理子, 巨真智子, 藤原崇志, 青山卓史 (京大・化研)</p>	

I 会場	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時 間
オルガネラ/細胞骨格 2aI12 植物細胞内における蛍光タンパク質に直接融合したアクチンフィラメントと微小管の蛍光顕微鏡観察 貴嶋紗久 ¹ , 光田展隆 ¹ , 上田太郎 ² (¹ 産総研・生物プロセス, ² 早大・物理)	栄養成長 2aJ12 葉の鋸歯形成に関与する細胞分裂・分化制御転写因子 HR0109 高橋未来哉 ¹ , 池田美穂 ¹ , 光田展隆 ² , 高木優 ^{1,2} (¹ 埼玉大・院理工学, ² 産業技術総合研究所・生物プロセス)	植物生物間相互作用 A 2aK12 サリチル酸の合成経路の候補遺伝子の過剰発現および細胞内局在解析 小守啓友, 今野沙弥香, 加藤新平 (信州大学農学部加藤新平研究室)		環境応答 B 2aM12 浸透圧耐性シロイヌナズナ accession から得られた塩馴化後浸透圧耐性欠損変異株の解析 小山隆 ¹ , 吉原亮平 ² , 野澤樹 ² , 長谷純宏 ² , 鳴海一成 ² , 四井いずみ ¹ , 坂田洋一 ¹ , 太治輝昭 ¹ (¹ 東京農業大学・バイオ, ² 原子力機構・量子ビーム)		その他 (新技術開発・バイオリソース) 2aO12 CO ₂ 供給人工気象器を用いたダイズの世代促進 永利友佳理 ¹ , 藤田泰成 ^{1,2} (¹ 国際農林水産業研究センター, ² 筑波大学)	11:45

Ⓔ = 発表の言語は英語

● 第 2 日 3 月 14 日 (木) 午後 (13:30-16:00)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
13:30	シンポジウム08	シンポジウム09	光受容体/光応答		光合成	花成/時計		膜交通
13:30			2pC01 フィトクロムによる転写開始点制御に関わるトランス因子の順遺伝学的解析 鹿嶺菜々子, 金載旭, 牛島智一, 松下智直 (九大・農)		2pE01 緑色硫黄細菌 <i>Chlorobaculum tepidum</i> の光合成反応中心における外部フィロキノンによる電荷分離反応の促進 浅井智広 ¹ , Su Lin ^{2,3} , Kein E. Redding ¹ (立命館大・生命科学, ² アリゾナ州立大・バイオデザイン, ³ アリゾナ州立大・分子科学)	2pF01 陸上植物における花成の起源は水圏藻類の光防御にあった 得津隆太郎 ¹ , 鎌田(藤村)このみ ¹ , 松尾拓哉 ² , 山崎朋人 ³ , 皆川純 ¹ (基生研・環境光生物, ² 名大・遺伝子実験施設, ³ 高知大学, 理工)		2pH01 COPII 小胞形成ドメイン ERES とゴルジ体の関係 高木純平 ¹ , 嶋田知生 ² , 西村いくこ ¹ (甲南大・理工, ² 京大・院理)
13:45			2pC02 フィトクロムによる転写開始点制御の標的遺伝子に見出されるシス配列の解析 金載旭 ¹ , 野元美佳 ² , 多田安臣 ² , 松下智直 ¹ (九大・農, ² 名大・遺伝子)		2pE02 ヘリオバクテリアI型対称性反応中心: 励起子状態と超高速エネルギー移動の理論モデル 木村昭洋, 伊藤繁 (名大院・理・物理)	2pF02 日長条件と環境ストレスによるウキクサ植物 (<i>Wolffia hyalina</i>) の花成誘導 磯田珠奈子, 伊藤照悟, 小山時隆 (京都大学理学研究科形態統御学研究室)		2pH02 シロイヌナズナの雄性配偶体形成で機能する膜交通制御因子の解析 滝老根一生 ^{1,2} , 上田貴志 ^{1,2} (基生研・細胞動態, ² 総研大・生命科学)
14:00			2pC03 地上部と地下部に存在するフィトクロムBのいずれもが赤色光シグナルによるリン酸獲得調節に関わる標的遺伝子 菅野里美 ¹ , 馬淵敦士 ² , 門田慧奈 ² , 射場厚 ² , 柳澤修一 ¹ (東大・生セ, ² 九大・理学研究院)		2pE03 光化学系IIのD1-S169A変異体を用いた水分解機構の解析 嶋田友一郎 ¹ , 北島(井原)智美 ¹ , 長尾遼 ^{1,2} , 野口巧 ¹ (名大・院理, ² 岡大・異分野研)	2pF03 KaiC タンパク質に潜む概日時計: C1-ATPaseの調和振動が周期とその安定性を決めるペースメーカーである 伊藤(三輪)久美子 ¹ , 村中智明 ² , 近藤孝男 ¹ (名古屋大・理・生命理学, ² 京大大学生態学研究センター)		2pH03 膜交通から探るゼニゴケ油体形成機構 金澤達彦 ^{1,2} , 上田貴志 ^{1,2} (基生研・細胞動態, ² 総研大・生命科学)
14:15			2pC04 苔類ゼニゴケの生殖器官形成は遠赤色光高照射反応である 井上佳祐, 西浜竜一, 荒木崇, 河内孝之 (京大・院生命科学)		2pE04 光化学系II修復サイクルにおけるD1タンパク質の酸化修飾の影響 加藤裕介 ¹ , Dogra Vivek ¹ , Li Mingyue ² , 黒田洋詩 ³ , 高橋裕一郎 ³ , Kim Chanhong ² , 坂本亘 ¹ (岡山大学資源植物科学研究所, ² Shanghai Center for Plant Stress Biology and Center of Excellence in Molecular Plant Sciences, Chinese Academy of Sciences, China, ³ 岡山大学 異分野基礎科学研究所)	2pF04 KaiC タンパク質に潜む概日時計: 2つのATPaseのルースカップリングが安定な振動を維持する 伊藤(三輪)久美子 ¹ , 村中智明 ² , 近藤孝男 ¹ (名古屋大学大学院理学研究科, ² 京大大学生態学研究センター)		2pH04 植物のクチクラ形成に関与するABC輸送体の局在制御機構の解析 田中博和 ¹ , 田井聡美 ² , 橋口雄樹 ² , 江口めぐみ ¹ , 三谷啓太 ¹ , 柿本辰男 ² (明治大・農・生命, ² 大阪大・院・理)
14:30			2pC05 抑制因子として光情報伝達に関わるシロイヌナズナのMYB70の解析 嶋田勢津子 ¹ , 栗原志夫 ¹ , 宗貞敬親 ^{1,2} , 堀井陽子 ¹ , 栗山朋子 ¹ , 川島美香 ¹ , 松井南 ¹ (理研・CSRS, ² 横浜市大・生命ナノシステム科学研究科)		2pE05 X線自由電子レーザーによって明らかになった酸素発生光化学系IIの構造変化 菅倫寛 ¹ , 秋田総理 ¹ , 山下恵太郎 ² , 中島芳樹 ¹ , 久保稔 ³ , 上野剛 ² , 李洪杰 ¹ , 山根卓大 ¹ , 梅名泰史 ¹ , 米倉慎一郎 ¹ , 于龍江 ¹ , 村上博則 ¹ , 野村隆 ¹ , 馬場清喜 ⁴ , 熊坂崇 ⁴ , 山本雅貴 ⁵ , 吾郷日出夫 ⁵ , 沈建仁 ¹ (岡山大学異分野基礎科学研究所(理), ² 東京大学, ³ 兵庫県立大学, ⁴ 高輝度光科学研究センター, ⁵ 理化学研究所 放射光科学研究センター)	2pF05 シアノバクテリア時計タンパク質 KaiCの嫌気条件下での概日振動 藤本恵, 三林芳太郎, 浅井智広, 寺内一姫 (立命館大・生命科学)		2pH05 GPI アンカー付加はアラビノガラクトタンタンパク質前駆体の適切な輸送と糖鎖形成に必要である 永里太暉 ¹ , 杉田雄斗 ² , 津野雄平 ² , 松岡健 ^{1,2,3} (九大・院農, ² 九大・院生資環, ³ 九大・生環セ)
14:45			2pC06 ㊦ AT-hook transcription factors repress petiole growth by antagonizing PIF4 David S Favero ^{1,4,5} , Ayako Kawamura ¹ , Jae-Hoon Jung ² , Takamasa Suzuki ¹ , Katja E Jaeger ² , Philip A. Wigge ² , Michael M Neff ^{1,5} , Keiko Sugimoto ^{1,6} (Cen. Sus. Res. Sci., RIKEN, ² Sains. Lab. Univ. Cambridge, UK, ³ Dep. Biol. Chem., Chubu Univ., ⁴ Dep. Crop and Soil Sci, Wash. State Univ., USA, ⁵ Mol. Plant Sci. Grad. Prog., Wash. State Univ., USA, ⁶ Dep. Biol. Sci., Univ. Tokyo)		2pE06 珪藻 PSII-FCPII 複合体のクライオ電顕構造解析 長尾遼 ¹ , 秋田総理 ^{1,2} , 加藤公兎 ¹ , 鈴木健裕 ³ , 伊福健太郎 ⁴ , 内山都夫 ⁵ , 葉子野康浩 ⁶ , 堂前直 ³ , 秋本誠志 ⁷ , 宮崎直幸 ⁸ , 沈建仁 ¹ (岡山大・異分野, ² JST・さきがけ, ³ 理研 CSRS・生命分子解析, ⁴ 京都大・院生命科学, ⁵ 基生研・ゲノム情報, ⁶ 兵庫県立大・院生理学, ⁷ 神戸大・院理, ⁸ 大阪大・蛋白質研)	2pF06 日長によるトマトの花成制御の研究 森谷智恵, 後藤弘園 (岡山県農林水産総合センター・生物科学研究所)		2pH06 アダプタータンパク質複合体AP-4はホウ酸トランスポーター BOR1のTGNから液胞への輸送において重要である 細川卓也 ¹ , 吉成晃 ^{1,2} , 國枝正 ^{3,4} , 嶋田知生 ⁵ , 西村いくこ ³ , 高野順平 ¹ (大阪府立大学 生命環境科学域 応用生命科学科, ² 名古屋大学 トランスフォーメティブ生命分子研究所, ³ 甲南大学 理工学部 生物学科, ⁴ 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス領域 植物科学分野, ⁵ 京都大学 理学研究科)

How to inherit and rewrite cellular memory in plants (13:30-16:00)

Plant mineral transporters: from function to structure and modelling (13:30-16:00)

I 会場	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時間
オルガネラ/細胞骨格	栄養成長	植物生物間相互作用 A, B		環境応答 C			
<p>2pI01 小胞体タンパク質HIGH STEROL ESTER 1によるステロール恒常性維持機構 島田貴士¹, 嶋田知生², 岡咲洋三³, 東泰弘⁴, 齊藤和季⁵, 桑田啓子⁶, 小山香梨⁷, 加藤美砂子⁸, 高野義孝⁹, 上田貴志^{10,11}, 中野明彦¹², 上田晴子¹³, 西村いくこ¹³ (1千葉大・院・園芸, 2京都大・院・理, 3三重大・院・生物資源, 4理研・CSRS, 5千葉大・院・薬, 6名古屋大・ITbM, 7お茶の水女子大・院・ライフサイエンス, 8京都大・院・農, 9基生研・細胞動態, 10JST さきかげ, 11総研大, 12理研・光子工学, 13甲南大・理工)</p>	<p>2pJ01 GSK3-BES1シグナリングモジュールのゼニゴケにおける役割 古谷朋之¹, 石崎公康², 西浜竜一³, 河内孝之⁴, 福田裕徳⁵, 近藤侑貴¹ (1東京大・院・理, 2神戸大・院・理, 3京大・院・生命)</p>	<p>2pK01 ㊦ Field Analyses For Structural Dynamics Of Rice Associated Microbiome Yuniar Devi Utami¹, Masako Fuji¹, Yukiko Shimizu², Yuichi Hongoh², Yutaka Sato³, Yusuke Saijo⁴ (1Grad. Sch. Sci. Tech., NAIST, 2Sch. Life Sci. Tech., Tokyo Tech., 3NIG)</p>		<p>2pM01 概日時計を介したシロイヌナズナ DREB1 遺伝子の低温誘導性発現制御域所産¹, 原口裕基¹, 石川朋奈¹, 戸田智美¹, 篠崎一雄², 篠崎和子¹ (1東大院・農学生命科学, 2理研・環境資源科学研究セ)</p>			13:30
<p>2pI02 小胞体-細胞膜接着部位の構成因子の同定と機能解析 石川一也¹, 田村謙太郎², 深尾陽一朗³, 嶋田知生¹ (1京大・院理, 2静岡県立大・食品栄養, 3立命館大学生命情報学科)</p>	<p>2pJ02 シロイヌナズナ DROLI 遺伝子に依存するスプラインシグの解析 鈴木孝征¹, 上野友規¹, 木全祐資², 田中彬貴¹, 緋田響¹, 加藤徹¹, 杉田由季¹, 河合都妙⁴, 東山哲也³, 中村研三¹ (1中部大・応用生物, 2名古屋大・院理・生命理学, 3名古屋大学 WPI-ITbM)</p>	<p>2pK02 ㊦ Three-dimensional reconstruction of the internal structure of a haustorium in parasitic plants Natsumi Masumoto¹, Yuki Suzuki^{1,3}, Songkui Cui², Mayumi Wakazaki², Mayuko Sato², Arisa Shibata², Kie Kumaishi⁴, Yasunori Ichihashi¹, Ken Shirasu^{2,5}, Yoshinobu Sato¹, Kiminori Toyooka², Satoko Yoshida^{1,2} (1NAIST Grad. Sch. Sci. Tech., 2RIKEN, CSRS, 3Osaka Uni., 4RIKEN, BRC, 5Univ. Tokyo, Grad. Sch. Sci.)</p>		<p>2pM02 シロイヌナズナのストレス応答性転写因子 DREB2A の翻訳後制御に関するプロテインキナーゼの解析 溝井順哉¹, 高橋亮輔¹, 中道範人^{2,3}, 木下俊則^{2,3}, 篠崎一雄⁴, 篠崎和子¹ (1東大院・農学生命科学, 2名大ITbM, 3名大院・理, 4理研・環境資源科学研究セ)</p>			13:45
<p>2pI03 シロイヌナズナにおける ER body 形成因子 NA12 の機能解析 國枝正^{1,2}, 桑田啓子³, 山田健志⁴, 出村拓⁵, 西村いくこ¹ (1甲南大・理工, 2奈良先端大・バイオ, 3名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所, 4ヤゲウオ大・マルボルスカ研)</p>	<p>2pJ03 種皮のクチクラ形成制御因子は種子保存性に関与する 大島良美¹, 鳴海貴子², 金子康子³, 石川寿樹⁴, 川谷真紀⁴, 高木優⁵, 光田展隆¹ (1産総研・生物プロセス, 2香川大・農, 3埼玉大・教育, 4埼玉大院・理工学, 5埼玉大・環境科学)</p>	<p>2pK03 ㊦ Ethylene signaling is involved in host-parasitic plant interaction via regulation of haustorium development Songkui Cui^{1,2}, Ken Shirasu¹, Satoko Yoshida^{1,2} (1Nara Inst. Sci. Tech., 2RIKEN)</p>		<p>2pM03 高温ストレス条件下における HTS1 タンパク質の細胞内局在の解析 小賀田拓也¹, 藤田泰成² (1国際農研・生物資源利用, 2筑波大・生命環境)</p>			14:00
<p>2pI04 ペルオキシソーム形成に関わる新規因子 APEM6 の機能と局在制御 神垣あかね¹, 西村幹夫², 真野昌二^{1,3} (1基生研・細胞生物, 2甲南大学・理工学部, 3総研大・生命科学)</p>	<p>2pJ04 シロイヌナズナ IDD4 遺伝子は種子発芽制御の新規因子である 青柳拓也¹, 木暮暁子¹ (1静岡大・理学, 2静岡大・総合科学技術研究所)</p>	<p>2pK04 ジベレリンを介したトルコギキョウ Paris 型アークスキュラー菌根共生の促進メカニズムの解明 富永良哉¹, 三浦千裕², 武田直也³, 菅野裕将⁴, 竹村圭弘², 瀬尾光範¹, 大和政秀⁵, 上中弘典² (1鳥取大・院農, 2鳥取大・農, 3関学大・理工, 4理研 CSRS, 5千葉大・教育)</p>		<p>2pM04 窒素過剰施肥によるオートファジーを介したリン酸欠乏応答の抑制 吉竹悠宇志¹, 中村映那², 泉正範^{2,3,4}, 太田啓之^{1,3}, 下嶋美恵¹ (1東工大・生命理工学院, 2東北大・院・生命科学, 3東北大・FRIS, 4JST・PREST, 5JST OPERA)</p>			14:15
<p>2pI05 GFS9 はシロイヌナズナの暗所芽生えにおけるプラスチドのピースミールオートファジーに関与する 石田宏幸^{1,6}, 石田ひろみ^{1,6}, 泉正範^{2,3,4}, 林誠⁵, 牧野周¹, Klaas van Wijk⁶ (1東北大・院・農, 2東北大・院・生命, 3東北大・FRIS, 4PREST・JST, 5長浜バイオ大・バイオサイエンス, 6コーネル大・SIPS)</p>	<p>2pJ05 イネ胚形成における ETT 転写因子の下流で機能する転写因子群の解析 高橋(野坂)実鈴¹, 鈴木俊哉¹, 佐藤(志水)佐江¹, タ・キム ニュンク¹, 高橋宏和², 鈴木孝征², 豊田敦¹, 中園幹生², 佐藤豊¹ (1遺伝研, 2名大・院生命農学, 3中部大・院応用生物学)</p>	<p>2pK05 キク矮化ウイルス (CSVd) 感染によるキク内生遺伝子の発現変動と病態との関係—CSVd 由来の siRNA は病原性発現には直接関わらない?— 滝野博己¹, 北島佐紀人², 平野早紀¹, 岡真研^{1,3}, 松浦恭和¹, 池田陽子⁴, 小嶋美紀子⁵, 竹林裕美子⁵, 橋原均⁶, 三野真直¹ (1京都府大・生命環境, 2京都市工大・応用生物, 3鳥取大・農, 4岡山大学・植物研, 5理研・環境資源科学研究センター)</p>		<p>2pM05 国際宇宙ステーションにおける超高濃度 CO2 環境下での植物の生育改善 古市直也¹, 松波志帆¹, 加藤彩¹, 中澤映李加¹, 長尾由依¹, 藤田博子¹ (名古屋経済学大学人間生活科学部管理栄養学科)</p>			14:30
<p>2pI06 ゼニゴケ精子変態過程におけるオートファジーを介したミトコンドリアの数の制御機構の解明に向けて 法月拓也^{1,2}, 南野高紀², 金澤建彦^{2,3}, 上田貴志^{2,3} (1東大・院・理, 2基生研, 3総研大)</p>	<p>2pJ06 シロイヌナズナにおける初期胚のライブイメージング 植田美那子¹, 木全祐資¹, 田中小百合¹, 加藤壮英², 松垣匠³, 栗原大輔¹, 山田朋美¹, 安藤奈央恵¹, 森田(寺尾)美代⁴, 瀬上紹嗣¹, 前島正義¹, 馳澤盛一郎⁵, 桑田啓子¹, 佐藤駿人¹, 鈴木孝征¹, 東山哲也¹, 田坂昌生² (1名古屋大学, 2奈良先端科学技術大学院大学, 3熊本大学, 4基礎生物学研究所, 5東京大学, 6中部大学)</p>	<p>2pK06 シロイヌナズナ本葉における恒常型 ER body の食害抑制機能の解析 中嶋淳子¹, 山田健志², 國枝正³, 杉山龍介⁴, 平井優美¹, 田村謙太郎⁵, 西村いくこ⁶, 嶋田知生¹ (1京都大・院理学, 2ヤゲウオ大・マルボルスカ研, 3奈良先端大・バイオ, 4理研 CSRS, 5静岡県立大・食品栄養科学, 6甲南大・理工)</p>		<p>2pM06 冠水時における浮イネ植物節間内の酸素濃度および遺伝子発現変動の解析 森欣順¹, Timothy Colmer², 芦莉基行¹, Ole Pedersen^{2,3}, 永井啓祐¹ (1名古屋大学生命農学研究科, 2西オーストラリア大学, 3コバンハーゲン大学)</p>			14:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第 2 日 3 月 14 日 (木) 午後 (13:30-16:00)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
15:00	シン ポ ジ ウ ム 08 How to inherit and rewrite cellular memory in plants (13:30-16:00)	シン ポ ジ ウ ム 09 Plant mineral transporters: from function to structure and modelling (13:30-16:00)	光受容体/光応答		光合成	花成/時計		膜交通
15:15			2pC07 海洋メタゲノムからの Phy-Cry 融合遺伝子の発見とそのゲノム・機能解析 藤田由布子 ¹ , 嶋田勢津子 ¹ , 陶久あや ¹ , 栗山朋子 ¹ , 平田愛実 ¹ , 川島美香 ¹ , 栗原志夫 ¹ , 山口晴代 ² , 鈴木重勝 ² , 渡辺剛 ³ , 吉武和敏 ⁴ , 伏見圭司 ⁵ , 成川礼 ⁵ , 河地正伸 ² , 五条堀孝 ⁷ , 松井南 ¹ (理研・CSRS, ² 国立環境研, ³ 東北水研, ⁴ 東大・農学生命, ⁵ 静大・生物, ⁶ 九大・農, ⁷ 早稲田大・ナノ・増養殖研)	2pE07 窒素欠乏下での光化学系I—特異的アンテナ超複合体の解析 渡辺麻衣 ^{1,2} , 池内昌彦 ² , Annegret Wilde ¹ (フライブルク大学, ² 東大院・総合文化)	2pF07 サボテンのフロリゲン 長谷川葉月 ¹ , 田中啓介 ² , 高橋宏和 ³ , 西山智明 ⁴ , 坂本勇貴 ⁵ , Dario Copetti ⁶ , 小林久人 ^{2,7} , 中園幹生 ³ , 清水健太郎 ^{4,8} , 松永幸大 ² , 辻寛之 ¹ (横浜市立大学・木原生物学研究所, ² 東京農業大学・生物資源ゲノム解析センター, ³ 名古屋大学大学院生命農学研究科・植物遺伝育種学研究室, ⁴ 金沢大学・学際科学実験センター・ゲノム機能解析分野, ⁵ 東京理科大学・総合研究院・イメージングフロンティアセンター, ⁶ Department of Evolutionary Biology and Environmental Studies, University of Zurich, ⁷ 奈良県立医科大学・医学部医学科・発生・再生医学講座, ⁸ 東京理科大学・理工学部・応用生物科学科)	2pH07 ㊦ The high-affinity potassium transporter AtHAK5 undergoes degradation upon high K ⁺ supply Marcel P. Beier ¹ , Kehan Su ¹ , Daichi Nagata ² , Junpei Takano ¹ (Grad. Sch. Life Env. Sci., Osaka Pref. Univ., ² Grad. Sch. Agri., Hokkaido Univ.)		
15:30			2pC08 ブラシノ藻のキメラPHY-CRY 遺伝子のシロイヌナズナにおける機能解析 平田愛実 ^{1,2} , 藤田由布子 ¹ , 嶋田勢津子 ¹ , 陶久あや ¹ , 栗山朋子 ¹ , 川島美香 ¹ , 山口晴代 ³ , 鈴木重勝 ³ , 河内正伸 ³ , 作田正明 ³ , 松井南 ¹ (理研・CSRS, ² お茶の水大・院・生命科学, ³ 国立環境研)	2pE08 フィコエリスロシアンとロッド型フィコビリソームを制御する新しいタイプの補色順化 広瀬信 ¹ , Song Chihong ² , 渡辺麻衣 ³ , 米川千夏 ¹ , 村田和義 ² , 池内昌彦 ³ , 浴俊彦 ¹ (豊橋技術科学大学 環境・生命工学系, ² 生理学研究所, ³ 東京大学・院・総合文化)	2pF08 花成におけるイネ茎頂メリステムのサイトカニンシグナル伝達のイメージングと機能解析 佐藤萌子 ¹ , 北野英己 ² , 辻寛之 ¹ (横浜市立大・木原生物学研究所, ² 名古屋大・生物機能開発利用研究センター)	2pC09 異なるクラスのヒスチジンキナーゼの融合による CheA の青色光受容体化 福原友輔, 下地真美子, 笠原賢洋, 寺内一姫, 浅井智広 (立命館大・院生命科学)	2pE09 アンテナ機能を持ったカロテノイドの励起緩和ダイナミクス 加賀谷航平 ¹ , 長尾遼 ² , 沈仁建 ² , 豊福玲於奈 ³ , 鞆達也 ³ , 秋本誠志 ¹ (神戸大院・理, ² 岡山大・基礎研, ³ 東理大・理)	2pF09 ソルガムにおける夜低温誘導型開花には SbPRR37 が関与する 橋本登平, 手塚孝弘, 横井修司 (大阪府大・院生命環境科学)

I 会場	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時間
オルガネラ/細胞骨格	栄養成長	植物生物間相互作用 A, B		環境応答 C			
<p>2pI07 シロイヌナズナの葉緑体分解や飢餓応答におけるオートファジーとユビキチン化の相互作用の解析 菊池悠太¹, 中村咲耶¹, Jesse Woodson², 石田宏幸³, 日出間純¹, Paul Jarvis⁴, 泉正範^{1,5,6} (¹東北大院・生命科学, ²アリゾナ大・植物科学, ³東北大院・農, ⁴オックスフォード大・植物科学, ⁵東北大・学際研, ⁶JST・さきがけ)</p>	<p>2pJ07 葉の形成を制御する転写因子の機能解析 小山知嗣¹, 光田展隆², 関原明³, 高橋宏一^{4,5}, 木下俊則^{4,5}, 高木優⁶ (¹サントリー生命科学財団, ²産総研・生物プロセス, ³理研・環境資源科学, ⁴名古屋大・院理, ⁵名古屋大・ITbM, ⁶埼玉大・院理工)</p>	<p>2pK07  Single molecule signaling analysis; Ca2+-dependent protein kinase recognizes the suppressor signals of <i>Phytophthora infestans</i> to control hypersensitive cell death in plant cell Naotaka Furuichi¹, Masahiro Ohta² (¹Advisory Board, AAAS, ²Grad. Sci. and Tech, Niigata U.)</p>		<p>2pM07 二つの光条件下における酸化型グルタチオンのトドマツとエゾマツ, アカエゾマツ実生生育への効果 小川健二 (岡山県農林水産総合センター生物科学研究所)</p>			15:00
<p>2pI08 オートファジーは紫外線Bによって生じる損傷ミトコンドリアを除去する 中村咲耶¹, 日出間純¹, 大友康平², 根本知己², 石田宏幸³, 泉正範^{1,4,5} (¹東北大院・生命科学, ²北大・電子研, ³東北大院・農, ⁴東北大・学際研, ⁵JST・さきがけ)</p>	<p>2pJ08 食虫植物フクロユキノシタを用いた捕虫葉発生機構の解析 嶋川秀樹¹, Gergo Palfalvi^{1,2}, 長谷部光泰^{1,2} (¹基生研, ²総研大)</p>	<p>2pK08  Investigating the role of Cyclic Nucleotide Gated Ion Channel 2 in auxin-induced Ca2+ signaling Sonhita Chakraborty¹, Masatsugu Toyota², Wolfgang Moeder¹, Simon Gilroy², Keiko Yoshioka¹ (¹University of Toronto, Department of Cells and Systems Biology, Toronto, Canada, ²Saitama University, Graduate School of Science and Engineering, Saitama, Japan, ³University of Wisconsin, Department of Botany, Madison, United States)</p>		<p>2pM08 ナンノクロロプシスのSPX遺伝子のリン欠乏時の機能 園崎久美子¹, 堀孝一², 清水信介³, 澤祥平¹, 野村誠治³, 齋藤史彦³, 高見明秀³, 山本卓¹, 太田啓之², 坂本敦¹ (¹広島大・院理, ²東京工業大・生命理工学院, ³マツダ・技術研)</p>			15:15
<p>2pI09 BPP1ファミリー遺伝子の葉表皮細胞の形態形成への関与 加藤壮英¹, Jeh Haur Wong¹, 清水理愛¹, 木下寧々¹, 檜垣匠², 橋本隆¹ (¹奈良先端大・先端科学・バイオ, ²熊大・IROAST)</p>	<p>2pJ09 第4葉に極性異常を示すイネ突然変異体の解析 手塚拓海¹, 小林俊貴¹, 渡辺友和¹, 佐藤理絵², 我彦廣悦¹, 永澤信洋¹, 佐藤(永澤)奈美子¹ (¹秋県大・生物資源, ²秋県大・院生物資源)</p>			<p>2pM09 RNA-Seq ライブラリ作製手法の多様体化・低コスト化とシロイヌナズナにおける温度応答の解析 袖谷麻梨, 鹿島誠, 手塚あゆみ, 永野惇 (龍谷大学 食と農の総合研究所)</p>			15:30

 = 発表の言語は英語

● 第 3 日 3 月 15 日 (金) 午前 (9:00-12:00)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場
	JTPB2019 Symposia	JTPB2019 Symposia	光受容体/光応答		光合成	JTPB2019 Symposia	JTPB2019 Symposia		オルガネラ/細胞骨格
9:00			3aC01 シロイヌナズナ胚軸光屈性において RPT2 が phot1 の光感受性を調節する仕組み 木村太郎 ¹ , 間山(植田)智子 ² , 酒井達也 ¹ (¹ 新潟大・院・自然科学, ² 理研・PSC)		3aE01 光化学系IIのクロロフィルZによる蛍光消光は単量体間のエネルギー移動を介して起こる 柴田雄 ¹ , Ahmed Mohamed ¹ , 福村裕史 ¹ , 伊藤繁 ² , 川上忠典 ³ , 沈建仁 ⁴ (¹ 東北大・院化学, ² 名古屋大・院物質理学, ³ 大阪市大・複合先端, ⁴ 岡山大・異分野基礎研)				3aI01 ミトコンドリア-葉緑体間の相互作用解析 及山和隆 ¹ , 今井拓人 ¹ , 児玉豊 ^{1,2} , 沼田圭司 ¹ (¹ 理研・環境資源科学, ² 宇都宮大・バイオサイエンス教育センター)
9:15			3aC02 シロイヌナズナにおける PIN 非依存的な光屈性誘導機構の分子遺伝学的解析 川浦圭太 ¹ , 吉岡真美 ¹ , 芳賀健 ² , 酒井達也 ¹ (¹ 新潟大・院自然科学, ² 日本工業大・基礎工学)		3aE02 クロロフィル蓄積過程のシアノバクテリアにおけるエネルギー移動経路の確立 篠田稔行 ¹ , 新井啓史 ² , 田伏廣輝 ² , 秋本誠志 ³ , 鞘達也 ^{1,2} (¹ 東理大・院理, ² 東理大・理, ³ 神戸大・院理)				3aI02 イネの葉の発生初期過程における ppGpp の合成制御と役割 伊藤和洋 ¹ , 伊藤道俊 ² , 増田真二 ³ , 射場厚 ¹ , 楠見健介 ¹ (¹ 九州大・院・理・生物, ² 東工大・院・生命理工, ³ 東工大・バイオセンター)
9:30			3aC03 孔辺細胞青色光シグナル伝達における BLUS1 の C 末端領域の機能解析 細谷松子 ¹ , 古屋繁一 ² , 島崎研一郎 ² , 武宮淳史 ¹ (¹ 山口大・院・創成科学, ² 九州大・院・理)		3aE03 シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 の超強光順化におけるカロテノイドの役割 出原太智 ¹ , 中澤小夏 ² , 神保晴彦 ³ , 高市真一 ⁴ , 西山佳孝 ^{1,2} (¹ 埼玉大・院・理工, ² 埼玉大・理・分子生物, ³ 東大・院・総合文化, ⁴ 東京農大・分子微生物)				3aI03 植物型緊縮応答の全容解明に向けたシロイヌナズナ ppGpp 合成・分解酵素の多重変異体解析 小野すみれ ¹ , 伊藤道俊 ¹ , 増田真二 ¹ (¹ 東京工業大学生命理工学院生命理工学コース, ² 東京工業大学生命理工学基礎支援総合センター)
9:45			3aC04 気孔孔辺細胞において青色光に反応してリン酸化される E3 ユビキチンリガーゼの機能解析 山内翔太 ¹ , 杉山直幸 ² , 島崎研一郎 ³ , 武宮淳史 ¹ (¹ 山口大・院・創成科学, ² 京大・院・薬, ³ 九州大・院・理)		3aE04 緑色硫黄細菌 <i>Chlorobaculum tepidum</i> の光化学系反応中心に存在するカロテノイド配糖体エステルの役割 原田三郎 ¹ , 浅井智広 ² , 井上拓 ² , 藤本将吾 ³ , 増田真二 ⁴ , 山本健 ¹ , 小澄大輔 ⁵ (¹ 久留米大学医学部医化学講座, ² 立命館大学生命科学部, ³ 熊本大学大学院自然科学研究科, ⁴ 東京工業大学生命理工学部, ⁵ 熊本大学ハルスパワー研究所)				3aI04 シロイヌナズナ実生の脱黄化における葉緑体シグナル伝達系の解析 望月伸悦 ¹ , 長谷あきら (京大・院・生物科学)
10:00			3aC05 孔辺細胞における細胞膜 H ⁺ -ATPase に依存した PEPC の活性化 深津孝平 ¹ , 林優紀 ¹ , 桑田啓子 ² , 鈴木孝征 ³ , 木下俊則 ^{1,2} (¹ 名古屋大・院・理, ² 名古屋大 ITbM, ³ 中部大・院・応用生物)		3aE05 <i>Rhodospseudomonas palustris</i> 由来 ferredoxin NADP ⁺ oxidoreductase の結晶構造と酵素活性 瀬尾伸介 ¹ , 村木則文 ² , 栗橋源嗣 ³ (¹ 金沢大学大学院理工研究域物質化学系, ² 自然科学研究機構分子科学研究所, ³ 大阪大学蛋白質研究所)				3aI05 一次共生型の光合成アメンボにおける DNA ウィルスを介した大規模遺伝子転移 松尾充啓 ¹ , 湯端篤 ¹ , 立川誠 ¹ , 水口洋平 ² , 野口英樹 ³ , 豊田敦 ⁴ , 藤山秋佐夫 ² , 鈴木穰 ⁵ , 佐藤壯一郎 ⁶ , 中山卓郎 ⁷ , 神川龍馬 ⁵ , 野村真未 ⁸ , 稲垣祐司 ¹ , 石田健一郎 ⁹ , 小俣方潤一 ¹ (¹ 京都府立大学生命環境科学研究科 植物ゲノム情報学, ² 情報・システム研究機構・国立遺伝学研究所, ³ 東京大学大学院・新領域創成科学研究科, ⁴ 筑波大学・計算科学研究センター, ⁵ 京都大学大学院・人間・環境科学研究科, ⁶ 筑波大学大学院・生命環境科学研究科)
10:15			3aC06 気孔開閉調節における PP2C-D の機能解析 秋山光雅 ¹ , 井上晋一郎 ¹ , 高橋洋平 ¹ , 林真妃 ¹ , 杉本穂高 ¹ , William M Gray ² , 木下俊則 ^{1,3} (¹ 名古屋大学大学院 理学研究科 生命理学専攻, ² Department of Plant Biology, University of Minnesota, ³ 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所)		3aE06 紅色細菌 <i>Rubrivivax gelatinosus</i> の光合成における代替的な電子伝達循環経路の発見 永島賢治 ¹ , 永島咲子 ^{1,2} , 佐藤剛 ¹ , 井上和仁 ^{1,3} (¹ 神奈川大学総合理学研究所, ² 首都大学東京・理・生命科学, ³ 神奈川大学理学部生物科学科)				3aI06 葉緑体核様体に見られる新奇光応答反応 石原静史 ¹ , 坂下幸汰 ¹ , 石田悠介 ¹ , 本森義隆 ² , 岩淵功誠 ¹ , 西村いくこ ¹ (¹ 甲南大・理工, ² 福井工業大・環境情報)
10:30			3aC07 青色光受容体フォトトロピンと相互作用するプロテインキナーゼの気孔開口における機能的特徴づけ 井上晋一郎 ¹ , 高橋洋平 ¹ , 林真妃 ¹ , 奥村将樹 ¹ , 澤崎達也 ² , B. Michael Palmgren ³ , 木下俊則 ¹ (¹ 名古屋大・院理, ² 愛媛大・プロテオサイエンスセンター, ³ コペンハーゲン大・植物環境科学, ⁴ 名古屋大・ITbM)		3aE07 緑色糸状性細菌の光合成関連遺伝子の転写に与える光照射および酸素の影響 猪崎風葉 ¹ , 春田伸 (首都大 院 生命)				3aI07 エチオプラストが葉緑体へ分化するときのチラコイド膜形成にはジガラクトシルジアシルグリセロールが必要である 藤井雄一 ¹ , 永田典子 ² , 増田建 ¹ , 和田元 ¹ , 小林康一 ³ (¹ 東京大・院・総合文化, ² 日本女子大・理, ³ 大阪府立大・高等教育)

	J会場	K会場	L会場	M会場	N会場	O会場	時間
	栄養成長	植物生物間相互作用B	転写・翻訳・翻訳後制御	環境応答B			
	<p>3aJ01 シロイヌナズナにおける脂質による放射軸決定機構の解析 永田賢司¹, 石川寿樹², 高橋卓³, 阿部光知¹ (1東大・院理・生物科学, 2埼玉大・院理工, 3岡山大・院・自然科学)</p>	<p>3aK01 <i>D14L/KAZ2</i>経路で働く新規アーバスキュラー菌根共生シグナル分子の探索 亀岡啓^{1,2}, 小八重善裕³, 経塚淳子⁴, 川口正代司⁵ (1大阪府大・院生命環境, 2学振PD, 3酪農学園大・農食, 4東北大・院生命, 5基生研・共生システム)</p>	<p>3aL01 ㊦ CFI 25 subunit of cleavage factor I is essential for plant development and 3' UTR polyadenylation site determination Xiaojuan Zhang¹, Naoki Takahashi², Masaaki Umeda³, Marta Garcia-Leon³, Vicente Rubio³, Tsuyoshi Furumoto⁴, Takashi Aoyama¹, Tom Tsuge¹ (1ICR Inst., Univ. Kyoto, 2Grad. Sch. Sci., NAIST, 3CNB-CSIC, Spain, 4Faculty of Agriculture, Univ. Ryukoku)</p>	<p>3aM01 ㊦ Different roles of two variants of a half-size ABC transporter in Al accumulation and detoxification of buckwheat Gui Jie Lei¹, Kengo Yokosho, Naoki Yamaji, Miho Fujii-Kashino, Jian Feng Ma (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)</p>			9:00
	<p>3aJ02 シロイヌナズナ AN3が関連する中心代謝制御のトランスオミクス解析 野崎守¹, 川出健介^{2,3,4}, 堀口吾朗⁵, 重信秀治^{2,4}, 山口勝司⁶, 澤田有司¹, 平井優美¹, 塚谷裕一^{1,6} (1ExCELLs, 2基生研, 3総研大, 4理研 CSRS, 5立教大・理・生命, 6東大・院・理)</p>	<p>3aK02 植物共生真菌 AM 菌のリボソーム DNA ゲノム内多型とタンデムリピート構造の欠損 前田太朗¹, 小林裕樹¹, 亀岡啓², 大熊直生^{1,2}, 武田直也¹, 山口勝司¹, 尾納隆大¹, 重信秀治^{1,3}, 川口正代司^{1,3} (1基礎生物学研究所, 2大阪府立大学, 3総合研究大学院大学, 4関西学院大学)</p>	<p>3aL02 ㊦ Understanding CSN-mediated regulation through its interaction with RNA processing factors Tom Tsuge¹, Xiaojuan Zhang¹, Mika Nomoto², Marta Garcia-Leon³, Naoki Takahashi⁴, Mariko Kato¹, Masaaki Umeda⁴, Vicente Rubio³, Yasuomi Tada², Tsuyoshi Furumoto⁵, Takashi Aoyama¹ (1ICR, Kyoto Univ., 2CGR, Nagoya Univ., 3CNB, CSIC, 4Grad. Sch. Sci. Tech., NAIST, 5Grad. Sch. Agr., Ryukoku Univ.)</p>	<p>3aM02 シロイヌナズナ野生系統を用いた <i>AIMATE</i> 発現量の Single-population GWAS 中野友貴¹, 楠和隆¹, 丸山春花², 小山博之^{1,2}, 小林佑理子^{1,2} (1岐阜大・連農, 2岐阜大・応生)</p>			9:15
	<p>3aJ03 シロイヌナズナの PI3P 結合タンパク質 AtFYVE2 のオートファジーと老化葉における役割 藤木友紀^{1,2}, 岡部茉莉子¹, Youngsook Lee³, 西田生郎^{1,2} (1埼玉大・理・分子生物, 2埼玉大・院理工・生命科学, 3ポハン工大・生命科学)</p>	<p>3aK03 ㊦ Molecular trafficking pathways associated with the interaction between parasitic plant and host plant Koh Aoki, Kohki Shimizu, Rika Takada, Yusuke Takagaki (Grad. Sch. Life Environ. Sci., Osaka Pref. Uni.)</p>	<p>3aL03 シロイヌナズナの光応答時におけるタンパク質をコードしない ORF の翻訳変化の解明 栗原志夫¹, 藤田由布子¹, 下平春花¹, 藤田智也^{2,3}, 岩崎信太郎², 松井南¹ (1理化学研究所, 環境資源科学研究センター, 合成ゲノム研究グループ, 2理化学研究所, 研究開発本部, 岩崎 RNA システム生化学研究室, 3東京工業大学, 科学技術創成研究院, 細胞制御工学研究センター)</p>	<p>3aM03 根端分生組織の重金属耐性における AtPCS1 の役割 浦口晋平¹, 曾根有香¹, 大塚裕登¹, 大森彩加¹, Arunee Wongkaew², 大津(大鎌)直子², 中村亮介¹, 高根沢康一¹, Stephan Clemens³, 清野正子¹ (1北里大学・薬, 2農工大・院農, 3バイロイト大)</p>			9:30
	<p>3aJ04 <i>as2 rpl4d</i> が示す葉の背軸化における NAC 型転写因子遺伝子 <i>SKZ1, 2, 3</i> および <i>SRIW1</i> の役割と相互関係 堀口吾朗^{1,2}, 前川修吾³, 大林祝³, 杉山宗隆¹, 塚谷裕一^{3,6} (1立教大・理・生命, 2立教大・理・生命センター, 3福建農林大学 海峡聯合研究院, 4東大・院・理・植物園, 5東大・院・理・生命創生探求センター・自然科学研究機構)</p>	<p>3aK04 茎寄生植物ネオニカズラのシュートへ移行した宿主由来の <i>GUS-tRNA^{met}</i> mRNA の翻訳 清水皇植, 青木考 (大阪府大・院生命環境)</p>	<p>3aL04 多様な脱アデニル化酵素が形成する複数のシロイヌナズナ CCR4-NOT 複合体の同定 荒江星拓¹, 今堀莉子², 鈴木悠也¹, 千葉由佳子^{1,3} (1北大・院生命, 2北大・理, 3北大・院理)</p>	<p>3aM04 ㊦ Glutathione and its biosynthesis intermediates alleviate cesium stress in <i>Arabidopsis thaliana</i> Eri Adams, Takae Miyazaki, Shunsuke Watanabe, Mitsunori Seo, Ryoung Shin (RIKEN Center for Sustainable Resource Science)</p>			9:45
	<p>3aJ05 リボソームストレスシグナリングにおけるリボソームタンパク質 RPL12B 及び RING 型ユビキチンリガーゼ SZK2 の機能解析 前川修吾¹, 深田かなえ¹, 高原正裕¹, 塚谷裕一^{2,3}, 堀口吾朗^{1,4} (1立教大・理・生命, 2東大・院・理, 3NINS・ExCeLLs, 4立教大・理・生命センター)</p>	<p>3aK05 茎寄生植物アメリカネオニカズラとの寄生部位で宿主植物の細胞分裂関連と維管束関連遺伝子の発現が1-過的に増加される 山本祥太, 青木考 (大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 応用生命科学専攻)</p>	<p>3aL05 クラミドモナスにおけるマイクロ RNA を介した qE クエンチングのファインチューニング 山崎朋人¹, 得津隆太郎², 皆川純² (1高知大学・理工, 2基生研・環境光)</p>	<p>3aM05 水陸両生植物 <i>R. aquatica</i> の水没にตอบสนองした気孔形成抑制メカニズムの解明 馬瀬樹志, 池松朱夏, 野口楓子, 坂本智昭, 木村成介 (京都産業大学 総合生命科学部)</p>			10:00
	<p>3aJ06 コスツ科植物に見られる特異な螺旋葉序「一列斜生」の数理的および形態学的解析 米倉崇晃, 杉山宗隆 (東京大・院・理・植物園)</p>	<p>3aK06 根毛と trichome の形成関連遺伝子のアメリカネオニカズラが持つ付着器形成への関与 藤原大輝, 青木考 (大阪府立大・院生命環境科学)</p>	<p>3aL06 ゼニゴケにおいて miR319-Mp<i>RKD</i> の制御が無性生殖器官の形成にかかわる二神和敬¹, 都筑正行², 濱田隆宏^{1,3}, 渡邊雄一郎¹ (1東大・院総合文化, 2ミシガン大, 3JST・さきがけ)</p>	<p>3aM06 シロイヌナズナの低窒素応答における <i>trans-acting siRNA3</i> の関与の可能性 西田翔¹, 福田牧葉^{2,3}, 寛雄介^{4,5}, 嶋田幸久¹, 藤原徹¹ (1広島大・院生物園, 2東京理科大・理工, 3東京大・院農学生命, 4横浜大・木原生研, 5農研機構・野花研)</p>			10:15
	<p>3aJ07 ねじれるシロイヌナズナ葉柄の細胞レベルの3次元定量観察 大塚祐太¹, 塚谷裕一^{1,2} (1東大・院・理, 2生命創成探求センター)</p>	<p>3aK07 トマト Introgression lines を用いた, 根寄生植物 <i>Pheipanche aegyptiaca</i> の発芽後抵抗性を示す遺伝子の同定 斎藤純奈, 青木考 (大阪府立大・院生命環境科学)</p>	<p>3aL07 シロイヌナズナ Dicer-Like1 による microRNA 前駆体切断機構の解析 平田梨佳子¹, 真壁智哉¹, 三柴啓一郎¹, 小泉望¹, Hamdan Samir M.², 岩田雄二¹ (1大阪府大・院生命環境, 2King Abdullah Univ. Sci. Tech.)</p>	<p>3aM07 硫黄荒原に分布する耐塩性植物種のイオンプロファイル 和崎淳¹, 山本見弘¹, 齋藤天翔¹, 坪田博美², 渡部敏裕³, 中坪孝之¹ (1広島大・院生物園, 2広島大・院・理, 3北大・院・農)</p>			10:30

㊦ = 発表の言語は英語

● 第 3 日 3 月 15 日 (金) 午前 (9:00-12:00)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場
10:45	JTPB2019 Symposia	JTPB2019 Symposia	光受容体/光応答 3aC08 細胞質型フォトトロピンは葉緑体の逃避反応と寒冷逃避反応を誘導できない 佐々木琴子, 大崎益秀, 児玉豊 (宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター)		光合成 3aE08 遺伝学のおよび形態的に遠隔な二種のヘテロシスト形成型シアノバクテリアのラマン散乱イメージング 玉水公人, 熊崎茂一 (京大院理)	JTPB2019 Symposia	JTPB2019 Symposia		オルガネラ/細胞骨格 3aI08 蛍光顕微鏡を用いて単離した気孔葉緑体形成不全シロイヌナズナ変異体の表現型解析 宋普錕, 山柿将, 射場厚, 祢宜淳太郎 (九大・院・理・生物科学)
11:00			3aC09 葉緑体外膜に局在するフォトトロピンは葉緑体逃避反応を誘導する 後藤栄治 ¹ , 石下和宏 ¹ , 比嘉毅 ² , 井上晋一郎 ³ , 末次憲之 ⁴ , 和田正三 ⁵ (九州大学大学院 農学研究院, ² 大阪大学 蛋白質研究所, ³ 名古屋大学大学院 理学研究科, ⁴ 京都大学大学院 生命科学研究科, ⁵ 首都大学東京 理工学研究科)		3aE09 窒素固定遺伝子群を有する非窒素固定性シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 の形質転換体におけるニトロゲナーゼ活性向上 植瀧この実, 小谷弘哉, 辻本良真, 山本治樹, 藤田祐一 (名大・院 生命農)				3aI09 CO ₂ に依存するタンパク質局在変化を指標にしたインテリジェント画像活性細胞選抜法による藻類細胞の高速変異株スクリーニング 山野隆志 ¹ , 豊川知華 ¹ , 松岡俊樹 ¹ , 新田尚 ^{2,3} , 杉村武昭 ^{2,3} , 磯崎瑛宏 ² , 飯野敬敏 ² , 伊藤卓朗 ^{2,3} , 合田圭介 ^{2,3} , 福澤秀哉 ¹ (京都大学大学院 生命科学研究科, ² 東京大学大学院理学系研究科, ³ 科学技術振興機構)
11:15			3aC10 ヒメツリガネゴケにおける赤色光応答に関与する SnRK2 下流因子のリン酸化プロテオーム解析 宇田川和輝 ¹ , 藤山翔子 ¹ , 大竹亮子 ¹ , 篠澤章久 ¹ , 梅澤泰史 ² , 友井拓実 ^{3,4} , 藤田友道 ⁵ , Andrew C. Cuming ⁶ , 四井いずみ ¹ , 太治輝昭 ¹ , 坂田洋一 ¹ (東農大・院・バイオサイエンス専攻, ² 東京農工大・院 生物システム応用化学府, ³ 北大・院 生命科学, ⁴ 岡崎統合バイオ, ⁵ 北大・院理, ⁶ リーズ大学)		3aE10 PII を欠損したラン藻変異株におけるアンモニア毒性と、アンモニア耐性に関わる PII タンパク質の未知機能の解明 坂本貴之 ¹ , Yajun Chang ¹ , 高谷信之 ¹ , 上坂一馬 ^{1,2} , 井原邦夫 ² , 小俣達男 ¹ (名古屋大・院・生命農, ² 名古屋大・遺伝子)				3aI10 Phos-tag を用いたチラコイド膜におけるリン酸化タンパク質の解析 西岡佳司 ¹ , 加藤裕介 ¹ , 小澤真一郎 ² , 高橋裕一郎 ² , 坂本亘 ¹ (岡山大・植物研, ² 岡山大・異分野基礎研)
11:30			3aC11 イネ CPD 光回復酵素のリン酸化修飾と葉緑体移行性 寺西美佳, 小松千春, 原遊, 山口弘子, 日出間純 (東北大・院・生命科学)		3aE11 <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 の光呼吸経路におけるグリコール酸代謝に関する研究 小林孝太郎 ¹ , Stefan Timm ² , Martin Hagemann ² , 鈴木石根 ³ (筑波大・院 生命環境科学, ² Dept. Plant Physiol., Univ. Rostock, ³ 筑波大・生命環境)				3aI11 光依存的気孔開口における葉緑体 Ca ²⁺ 結合タンパク質 CAS のリン酸化の役割 上村優奈, 桐島祐貴, 水野公貴, 石崎陽子, 椎名隆 (京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 植物分子生理学研究室)
11:45			3aC12 ㊦ African Rice Species (<i>O. glaberrima</i> , <i>O. barthii</i> and <i>O. sativa</i>) Exhibit Hypersensitivity to UVB Radiation Caused by Lower Specific Activity and Amount of CPD Photolyase. Gideon Mmbando, Mika Teranishi, Jun Hidema (Tohoku University, Graduate School of Life Sciences)		3aE12 クロロフィル蓄積過程の光化学系I複合体におけるエネルギー移動経路の確立 篠田稔行 ¹ , 新井啓史 ² , 秋本誠志 ³ , 齋達也 ^{1,2} (東理大・院理, ² 東理大・理, ³ 神戸大・院理)				3aI12 ヒメツリガネゴケにおけるカーゴ輸送モーター KCBP キネシン 14 の機能解析 吉田真理, 山田萌恵, 五島剛太 (名古屋大・院・理・生命理学)

	J 会場	K 会場	L 会場	M 会場	N 会場	O 会場	時間
	栄養生長	植物生物間相互作用B	転写・翻訳・翻訳後制御	環境応答B			
	<p>3aJ08 ㊦ Arabidopsis zinc-finger-like protein ASYMMETRIC LEAVES2 (AS2) bound exon 1 of ETTIN (ARF3) and maintain gene body DNA methylation in ETTIN together with nucleolar proteins Simon Vial-Pradet¹, Mika Nomoto^{2,4}, Hiro Takahashi³, Sayuri Ando¹, Masataka Suzuki¹, Shoko Kojima¹, Yasuomi Tada^{2,4}, Yasunori Machida², Chiyoiko Machida¹, ¹Graduate School of Bioscience and Biotechnology, Chubu University, ²Graduate School of Science, Nagoya University, ³Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University, ⁴Center for Gene Research, Nagoya University)</p> <p>3aJ09 シロイヌナズナの葉の発生分化に関わる Zinc-finger-like タンパク質 AS2 の核局在における核小体タンパク質の役割 安藤沙友里¹, 小川拓海², 後藤秀一朗², 小島晶子¹, 坂本勇貴³, 松永幸大³, 町田泰則⁴, 町田千代子¹ (¹中部大・院・応用生物, ²中部大・応用生物, ³東京理科大・理工, ⁴名大・院・理)</p> <p>3aJ10 シロイヌナズナの AS2 を介した葉の発生に関わるサイトカニン合成酵素遺伝子の関与 小島晶子¹, 西本珠美¹, 香田加那¹, 石橋菜々子¹, 小嶋美紀子⁴, 高橋広夫², 榊原均³, 町田泰則², 町田千代子¹ (¹中部大・応用生物, ²名大院・理・生命, ³名大院・生命農, ⁴理研・CSRS, ⁵金沢大院・薬)</p> <p>3aJ11 葉巻ウイルスの病原性因子 $\beta C1$ とその宿主受容体 ASYMMETRIC LEAVES1 (AS1) との相互作用と細胞内局在性 鈴木崇紀^{1,2}, 松尾憲純¹, 尾松正人¹, 田中美香¹, 笹部美知子³, 町田千代子⁴, 町田泰則² (¹石原産業(株)中央研, ²名古屋大・院理, ³弘前大・農学生命, ⁴中部大・院応用生物)</p> <p>3aJ12 イネ胚乳の発生におけるプラスチドン グナリングの関与 加藤大和¹, 深井麻央¹, 阿南秀¹, 佐藤豊², 志水佐江², 北野英己¹, 小林裕子³, 小林一成³, 武田真¹, 服部東穂¹ (¹名古屋大・生物機能セ, ²遺伝研・植物遺伝, ³三重大・先端科学)</p>	<p>3aK08 ㊦ Implication of mobile small RNAs for common functions in different host-parasitic plant complexes Subhankar Bera¹, Kohki Shimizu¹, Keisuke Tanaka², Shunsuke Yajima², Katsushi Yamaguchi³, Shigenobu Shuji³, Koh Aoki¹ (¹Osaka Prefecture University, Osaka, Japan, ²NODAI Genome Research Center, Tokyo University of Agriculture, Japan, ³National Institute for Basic Biology, Japan)</p> <p>3aK09 シロイヌナズナにおけるリン欠乏及び内生糸状菌との相互作用に関する自然変異の解析 山口聖亮¹, 安田盛貴¹, 葉紅¹, 田中碧¹, 渡邊むつみ¹, 峠隆之¹, 晝間敬^{1,2}, 西條雄介¹ (¹奈良先端大・先端技術, ²JST さきがけ)</p> <p>3aK10 シロイヌナズナにおける植物成長促進真菌の感染促進エフェクター候補遺伝子の機能解析と宿主代謝物質を介した発現抑制 安田盛貴¹, 晝間敬², 鶴川和希¹, 仙波一彦³, 渡邊むつみ¹, 田中啓介⁴, 太治輝昭⁵, 峠隆之¹, 中尾佳亮³, 西條雄介¹ (¹奈良先端大・先端技術, ²JST さきがけ, ³京大院・工, ⁴東農大・ゲノム解析センター, ⁵東農大・バイオ)</p> <p>3aK11 RSS の NO・ROS・H₂S との相互作用と根粒共生系への関与 福留光登¹, 島田葉月², 内奈保子¹, 小薄健一¹, 内海俊樹¹ (¹鹿児島大・院理工, ²鹿児島大・理)</p> <p>3aK12 アザミウマ忌避剤の開発とアザミウマ忌避に関わる植物二次代謝物の探索 安部洋¹, 櫻井民人², 瀬尾茂美², 澤田有司³, 平井優美³, 大矢武志⁴, 松浦昌平⁵, 三富正明⁶, 梅村賢司⁶, 腰山雅巳⁷, 津田新哉¹, 小林正智¹ (¹理研 BRC, ²農研機構, ³理研 CSRS, ⁴神奈川県農業技術センター, ⁵広島県立総合技術研究所, ⁶Meiji Seika ファルマ社, ⁷日本ゼオン社)</p>	<p>3aL08 ㊦ Genome wide analysis of nutrient-dependent translational regulation Naoyuki Sotta¹, Yukako Chiba², Hirofumi Fukuda¹, Mayuki Tanaka¹, Seidai Takamatsu², Yui Yamashita², Kyoko Miwa², Masami Yokota Hirai¹, Satoshi Naito², Toru Fujiwara¹ (¹Univ Tokyo, ²Hokkaido Univ, ³RIKEN)</p> <p>3aL09 上流 ORF の新生ペプチドを含む翻訳複合体が細胞内のマグネシウム濃度を感じて翻訳を制御する 林憲哉¹, 佐々木駿¹, 平郡雄大², Feng Zhihang³, 藤原徹³, 高橋広夫⁴, 山下由衣¹, 内藤哲^{1,5}, 尾之内均¹ (¹北大・院農, ²北大・農, ³東大・院農生命, ⁴金沢大・医薬保健, ⁵北大・院生命)</p> <p>3aL10 新生ペプチドが司るリボソームの停滞によりリボソーム出口トンネルが関与することの生化学的証拠 高松世大¹, 大橋悠文², 尾上典之¹, 尾之内均², 山下由衣², 内藤哲^{1,2} (¹北大・院生命, ²北大・院農)</p>	<p>3aM08 ㊦ Chemical screening identified that lipid signaling pathways regulate early aluminum-inducibile malate secretion in Arabidopsis Lijie Wu¹, Ayan Sadhukhan¹, Yuriko Kobayashi¹, Naohisa Ogo², Mutsutomo Tokizawa¹, Raj Kishan Agrahari¹, Hiroki Ito¹, Akira Asa², Hiroyuki Koyama¹ (¹Applied Biological Sciences, Gifu University, Gifu 501-1193, Japan., ²Graduate Division of Pharmaceutical Sciences, University of Shizuoka, Shizuoka 422-8526, Japan.)</p> <p>3aM09 イネのアルミニウム耐性転写因子 ART1 と相互作用するタンパク質 OsBBPs の機能解析 横正健剛¹, 陳志長¹, 山地直樹¹, 馬建鋒¹ (岡山大学資源植物科学研究所)</p> <p>3aM10 環境ストレス条件下における RNA 結合タンパク質 APUM5 およびボリ A 鎖除去酵素変異株の表現型解析 森田琴音¹, 荒江星拓¹, 鈴木悠也¹, 千葉由佳子^{1,2} (¹北大院・生命, ²北大院・理)</p> <p>3aM11 ササゲ属遺伝資源植物のアルミニウム耐性について 馬場(笠井)晶子¹, 江花薫子¹, 友岡憲彦¹ (農研機構 遺伝資源センター)</p> <p>3aM12 鉄欠乏がオオムギSUF経路の遺伝子発現に及ぼす影響の品種間差 香取摩耶¹, 齋藤彰宏², 大山卓爾², 樋口恭子² (¹東農大院・農化, ²東農大・農化)</p>			10:45
							11:00
							11:15
							11:30
							11:45

㊦ = 発表の言語は英語